

調教の間



長田 要

Contents

003 深窓の隷嬢

027 性ラー服

049 縛られ縄手

071 過去の触罪

093 誰がために鈴は鳴る

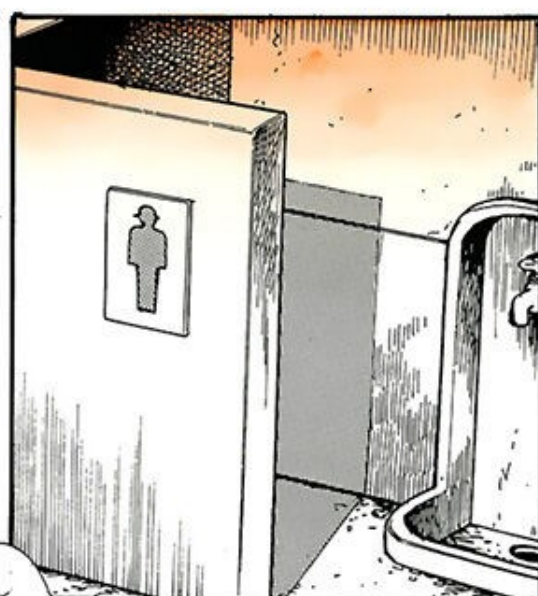
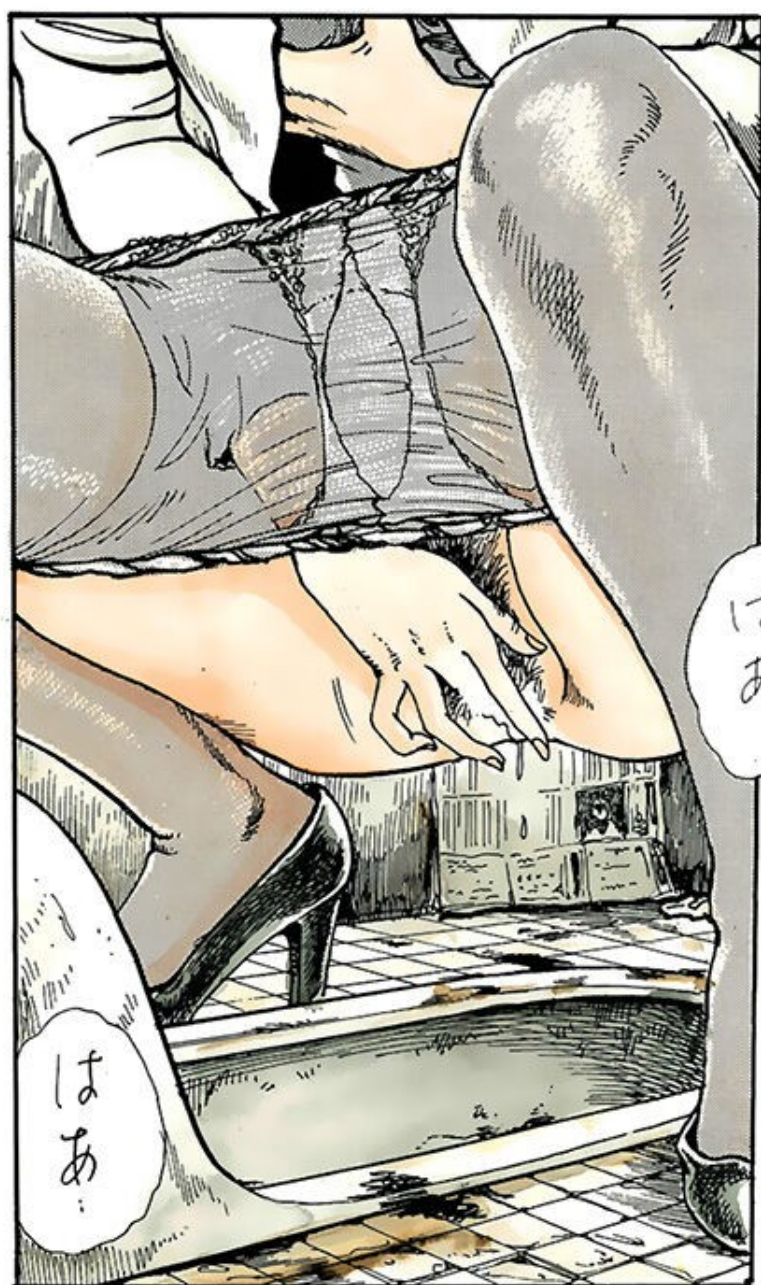
117 姦じるカラダ

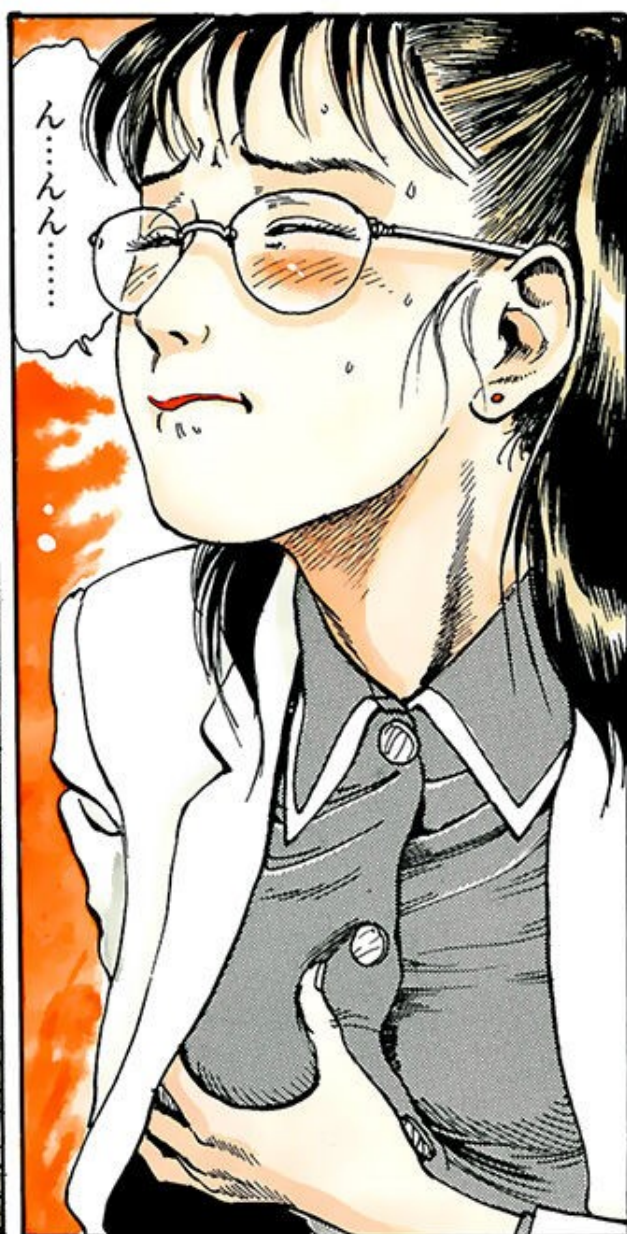
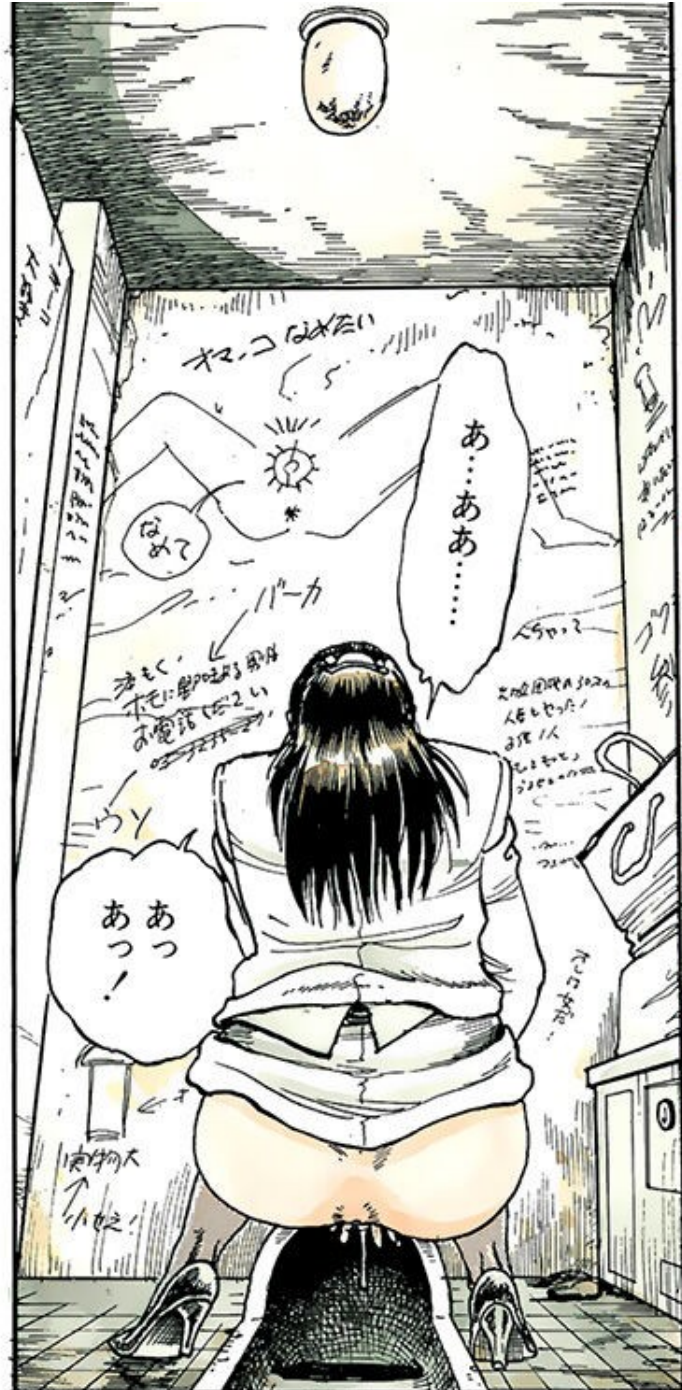


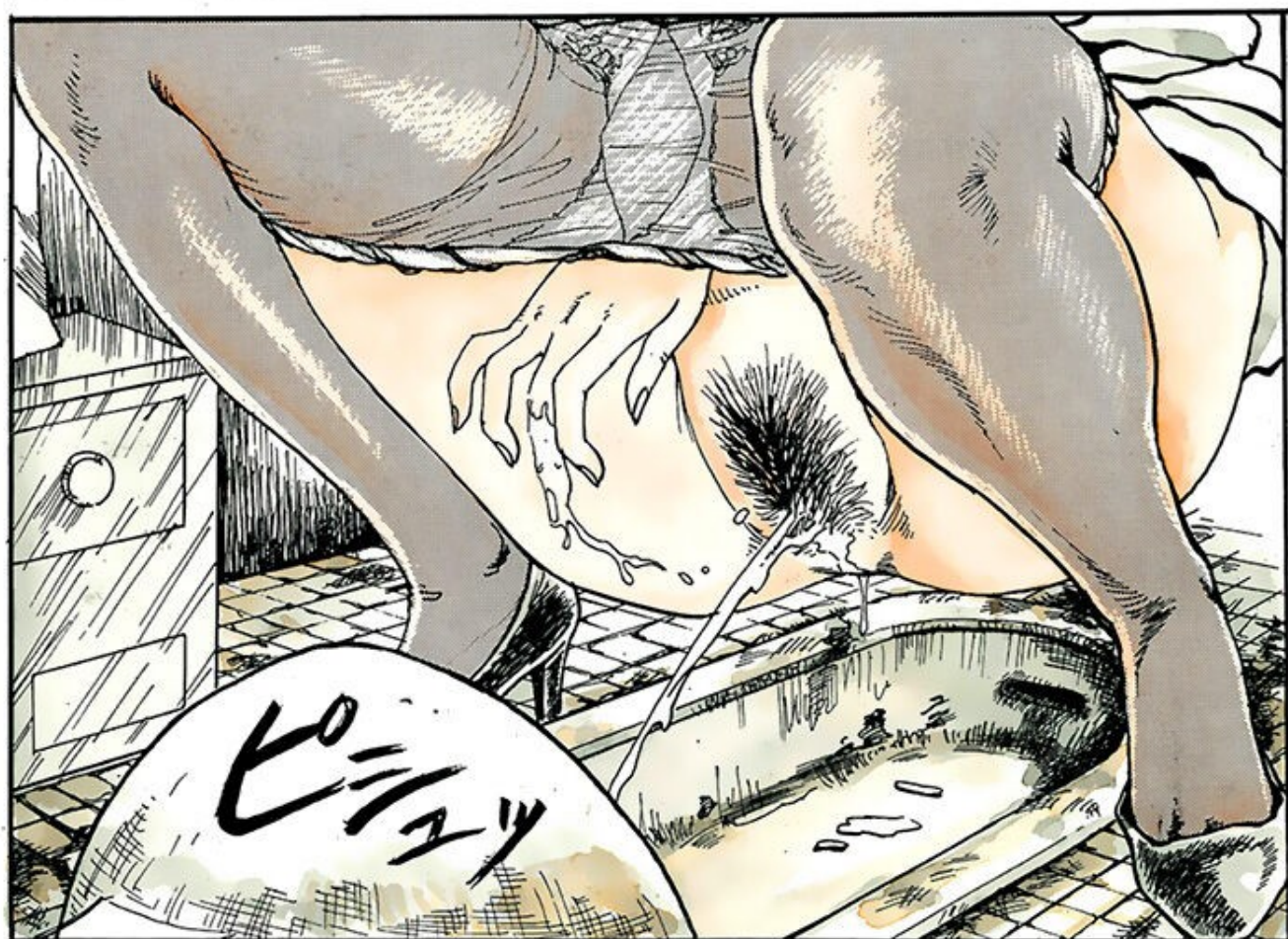
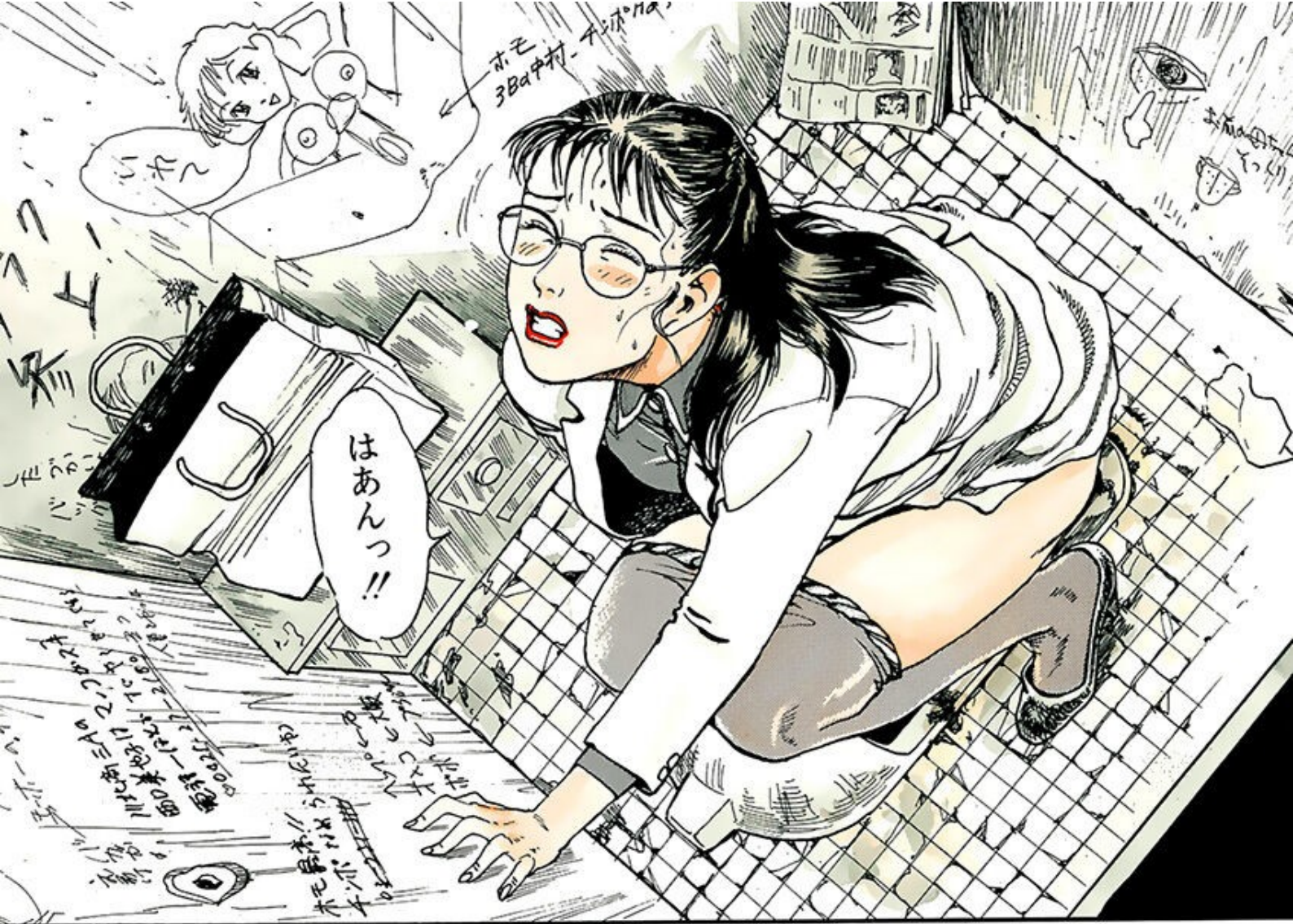
深窓の隸嬢

●しんそうのれいじょう●









あたしは花嫁修業中の
二十三歳……

はあ……

千ッポ
千ッポ

資産家の旧家に生まれ
子供のころから数人の使用人に
お嬢さまと呼ばれて育った
あたしは……

同世代の男性に
接触することもなく中学から
エスカレーター式に大学へ……

あ……
痛っ

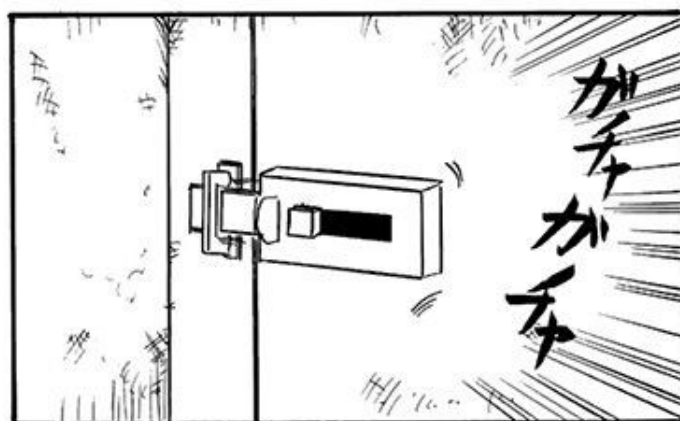
多感な時期に異性と
接触しなかったせい
か性に対して好奇心ばかりが
つのってしまつて……

舐めて……
か……

そんなときに大学で
一冊のアダルト小説を
拾ったのです……

それは大会社の社長令嬢が誘拐され
さんざんはずかしめを受ける
といった内容でしたが……

その中でも公衆トイレで
レイプされるという場面が
あたしにはとても衝撃的で……



なん度も読みかえすうちいつの間にか
読みながらオナニーすることを覚え
……

あつ
ま……また
……

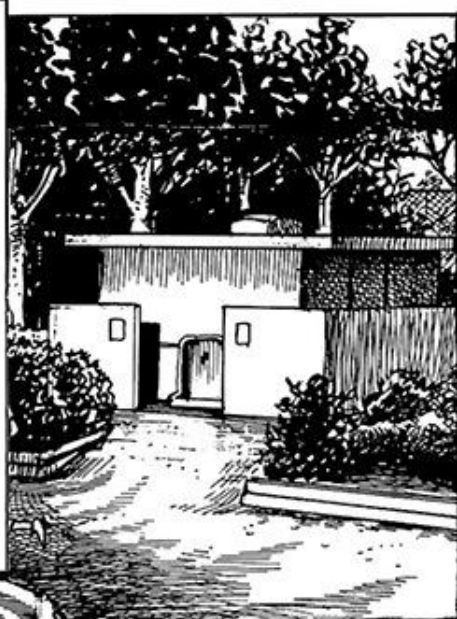
大学を卒業した今でも
月になん度かはこうして
男性用の公衆トイレで
……



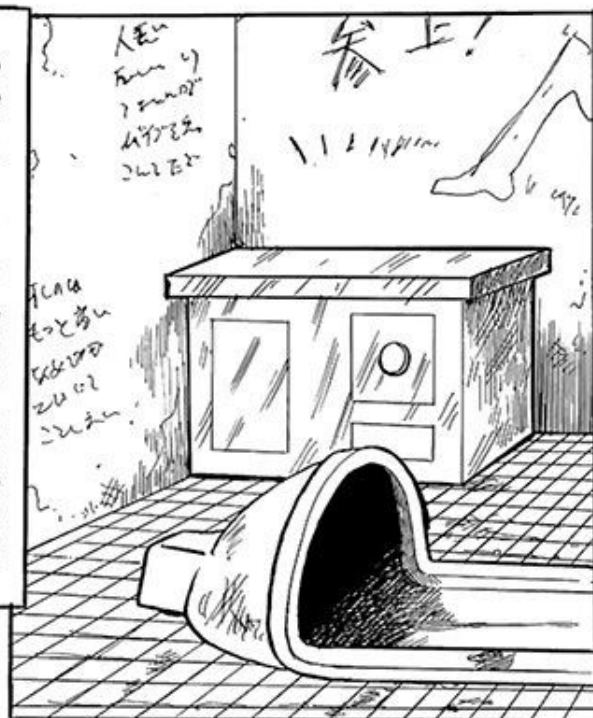
紙袋を忘れたことに気づいたのは
公園近くの駅に着いたときでした
……



買い物をし うっかりカード類や
定期券の入った財布を
紙袋に入れていたのです……



あわててトイレへ戻ったのですが
すでに紙袋はなくて……



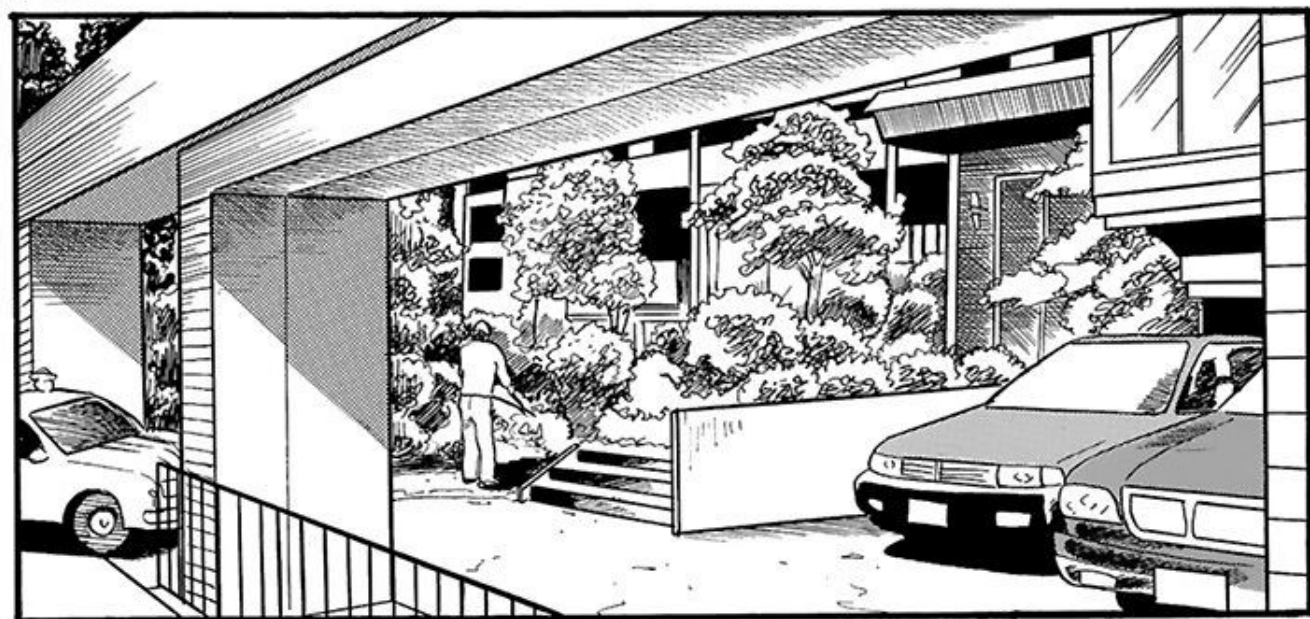
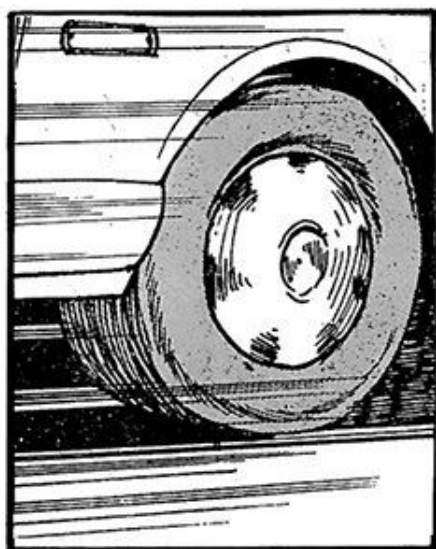
あたしは
うろたえました……

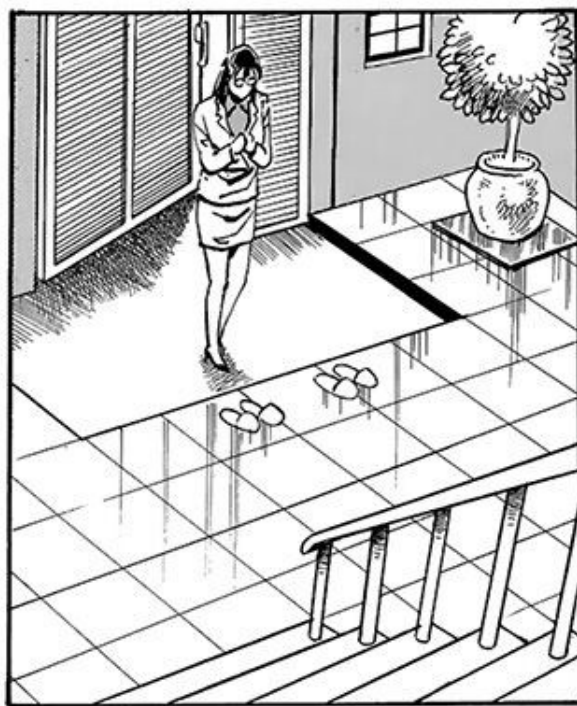


財布をなくしたただけなら
うろたえることも
なかったのですが……



買った品と
一緒というのが
問題でした……





翌朝――



はい
ああ 斎藤さん
……

おはようございます
朝食のお支度が
整いましたので……

それから
……

中村さまというかた
からお電話ですが
……

中村!!
ええ
つないでください
……

もしもし
……

はい
あたしですが
……

エロ本がつまった紙袋
あずかってんだけどさア
……

恐れていたことが起きました
それも最悪の形で……



ガ
チヤ



なんだい!!
聖書とかなら
いらないよ……

えっ!?

い……いえ……

紙……袋を……

あ……

へえ~~~~っ
電話に出たヤツが
お嬢さまとか言ってたから
どんな娘かと思って
いたら……



まアいいや
来いよ!

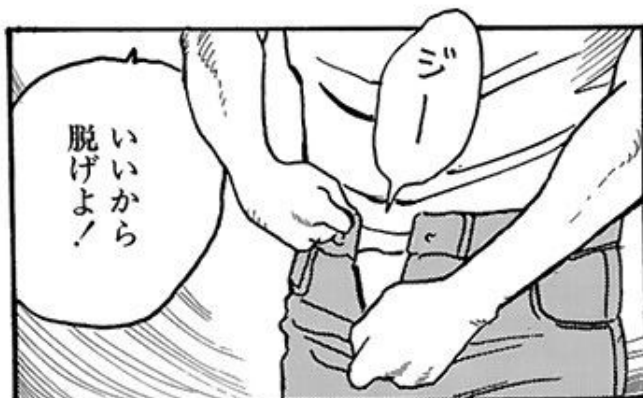
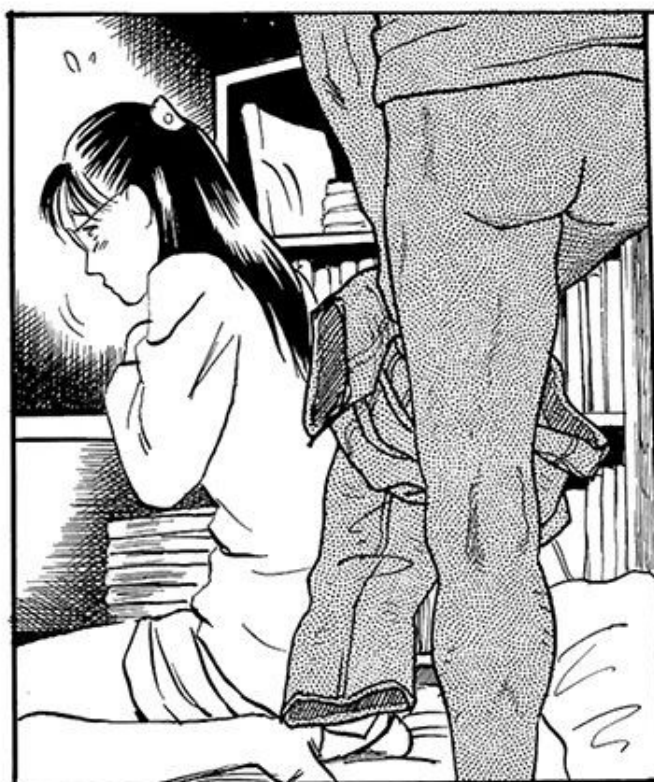
ガイッ

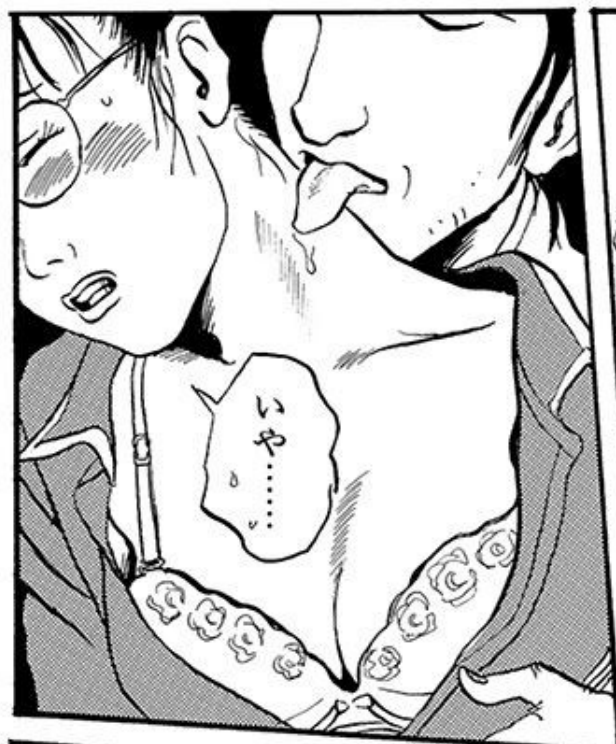
えっ!?

あ……
あの……







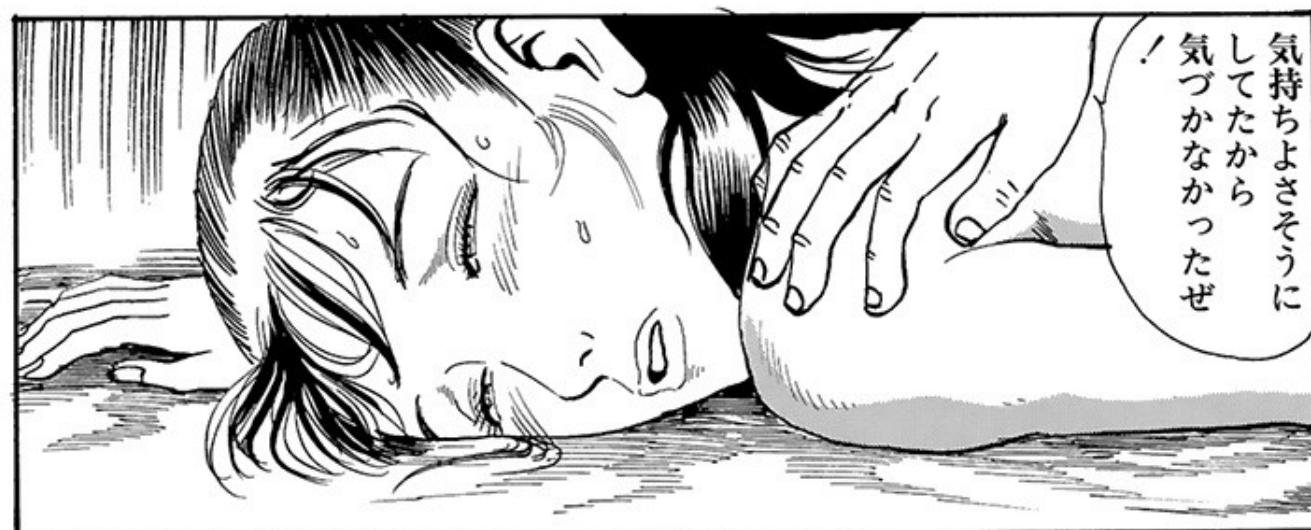






ドス ドス







うまいもんだろ!?

以前コマした中年女が
こういうのが好きでな
……



んっ
ごっ



名前も
知らない
女だが
今でもときどき
縛られに来ては
小遣いをくれる
!



あんたも
欲求不満になったら
ここへ来いよ
いつでも相手になるぜ
!

それから男の
なすがまま……

なん時間も
自由のきかない体を
オモチャのように
扱われて……

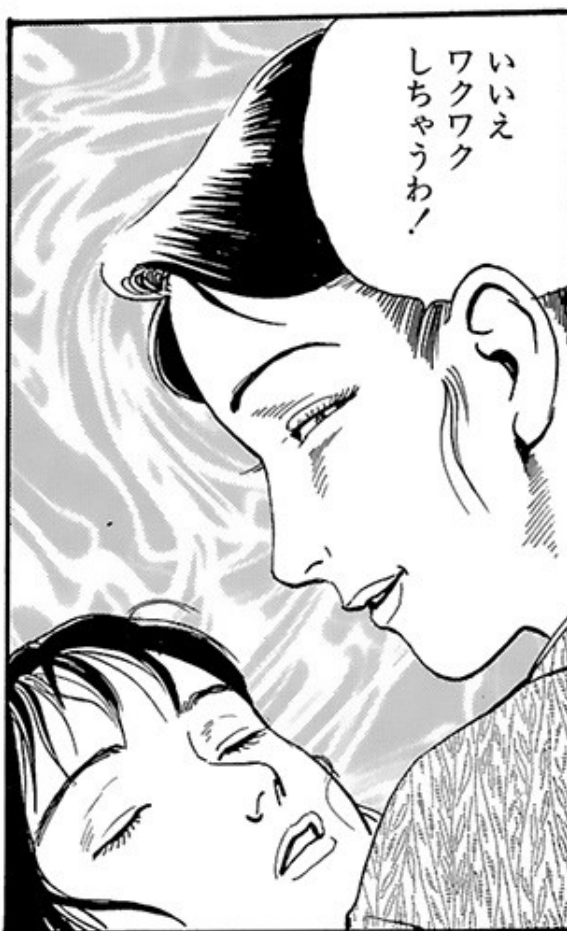
あたりが暗くなる
ころには……

あ……
ああっ!!

ああっ!!
ああ——
っ!!

い……いやア
落ちる
落ちる……





END

性ラー服

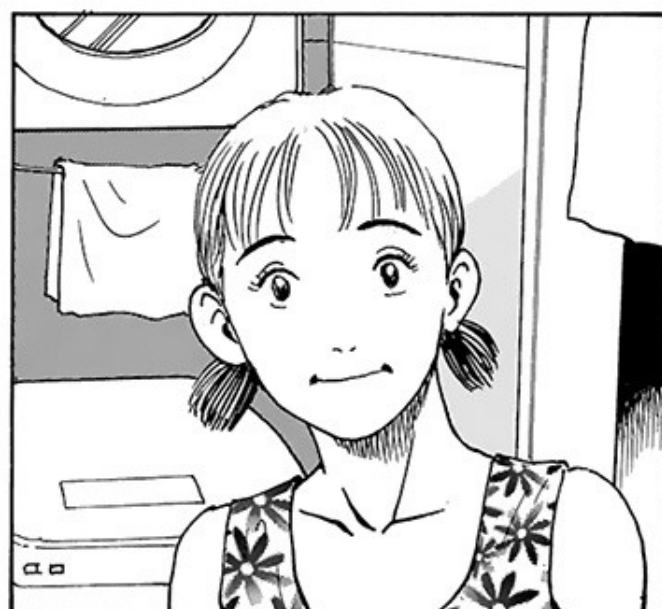
●せいらーふく●

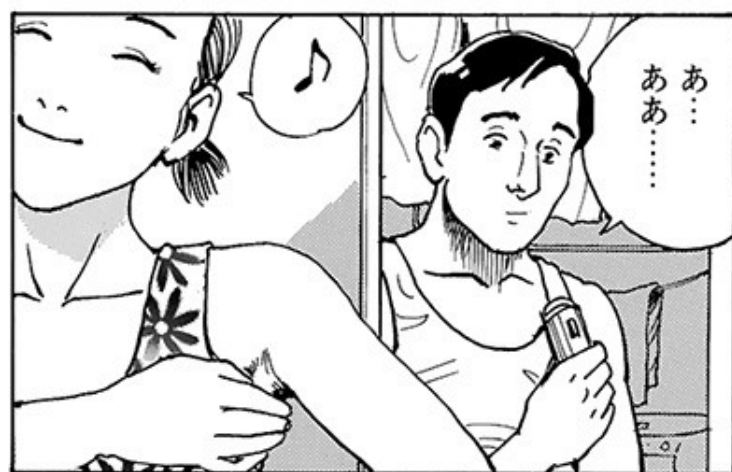


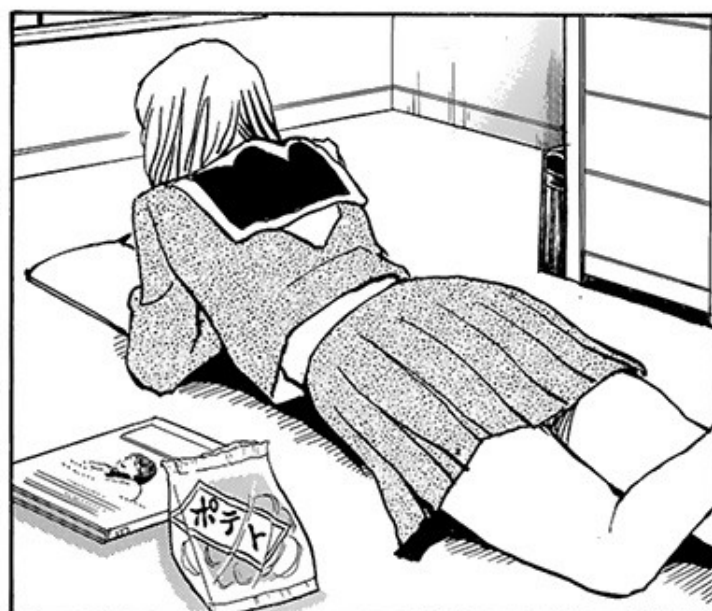
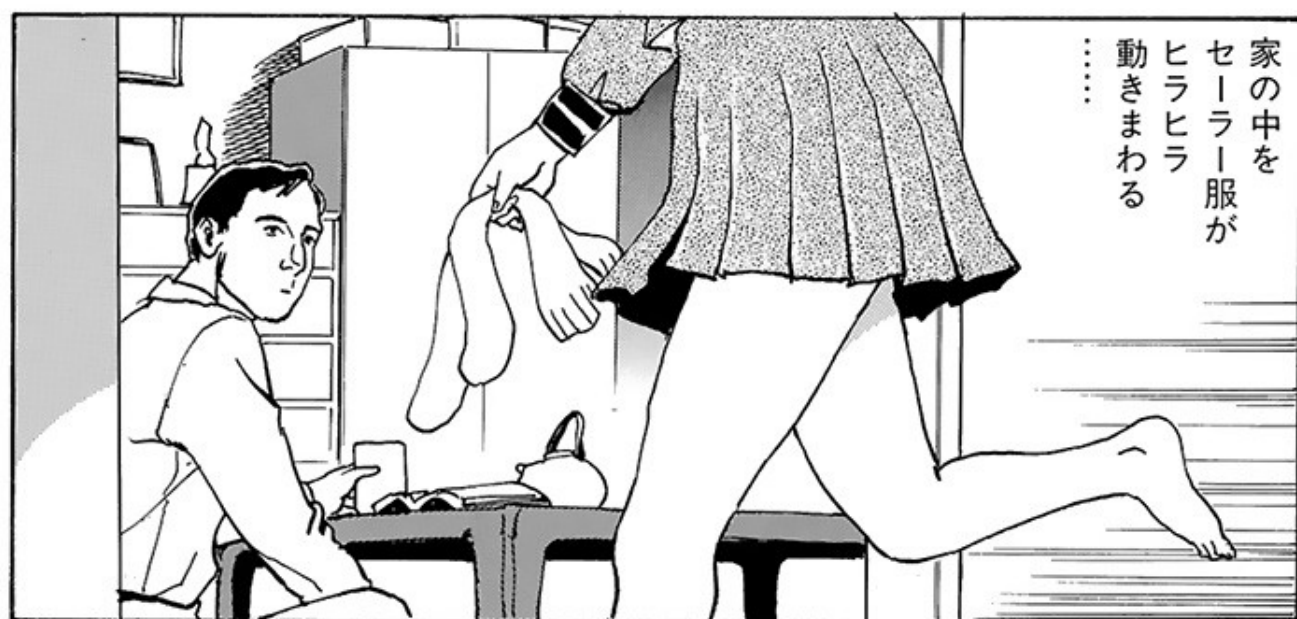
彼女と初めて会ったのは
結婚して二年目の
春も間近のことだった



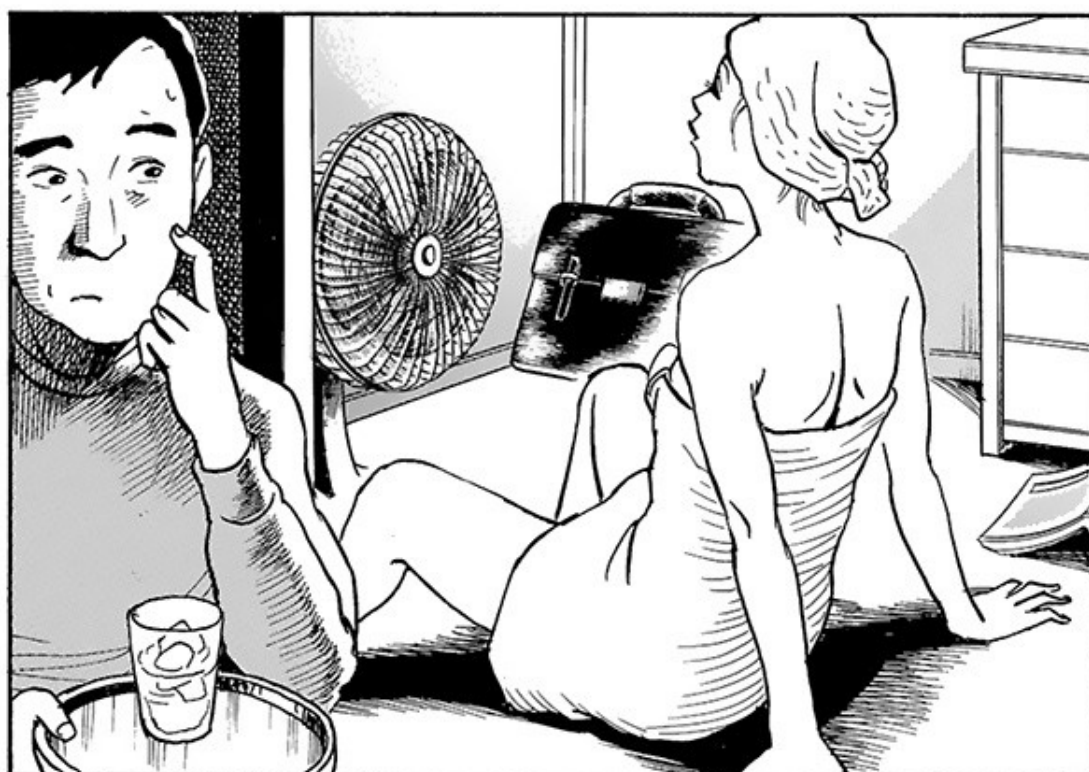








彼女の存在に
慣れるのに
半年はかかった……



しかし女房に言われ
勉強を手伝うように
なると……



俺たちは急速に親しくなり……



一年がすぎるころには
……

今度
赤点とったら
電気カミソリで
お股の毛を
剃るぞ！

やだア
オジさんの
エッチ！



さア
勉強
勉強！

そんな会話が普通に
できるようになった……



そして二年目……





三年目になると
こんなことまで……

舌先で
くすぐる
ように……

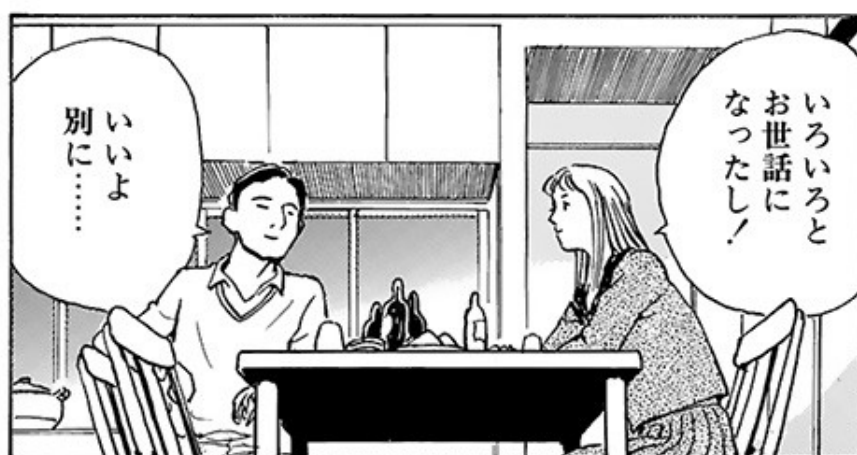
たまに
音をたてると
やらしくて
いいんだ！

んん……

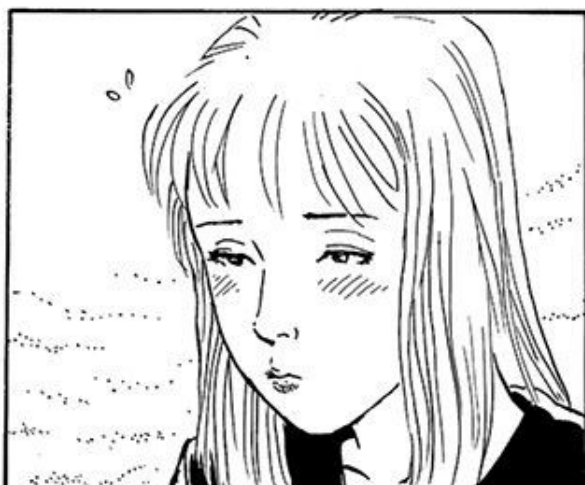
そうそう
いいぞ！

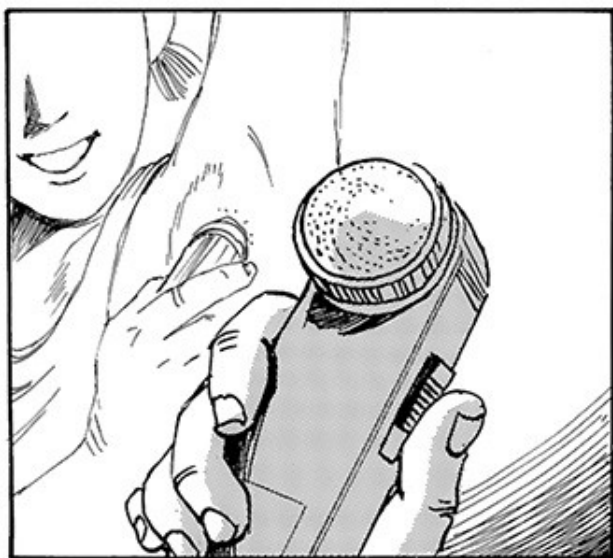
シヤッ
シヤッ
シヤッ

まるで
俺好みの女を
育てているような
気分だった……









花嫁姿の彼女は
幸せそうだった……

へえ
高校時代に
知りあった男と
結婚したの!?

ああ
そうらしい!

なかなかの
男前じゃ
ないの!

好みの
タイプか!?

バカ!

それから
数週間後の
ある日
……

わたし
夕食は外で
食べてくるから!

ああ
わかった!









ご主人に
なんて言いわけ
するんだ!?

主人は
知ってます
なにかも
……



オジさんの
気を引くため
なにをしたか
……

……



じゃあ
オジさんも一つ
わが家の秘密を
うちあけよう
……

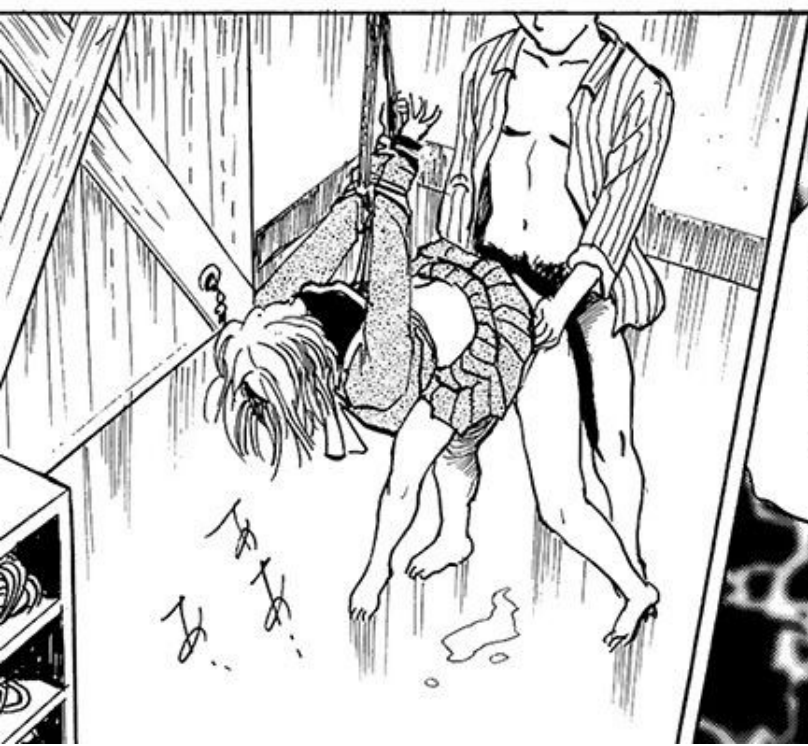


えっ!?

わたしのこと……
承知の上で
結婚してくれたん
です……

オジさんを
初めて見たとき
どう思ったか……







今度
来るときは
ご主人も
つれておいで!

いくっ!!

END

縛られ縄手

●しばられじょうず●

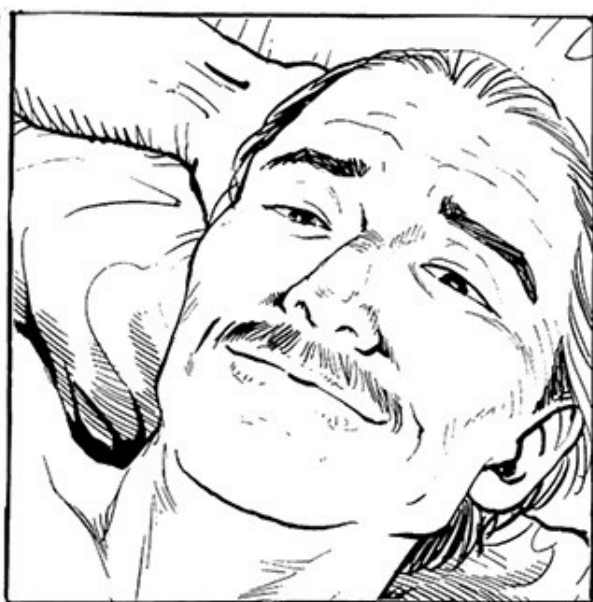




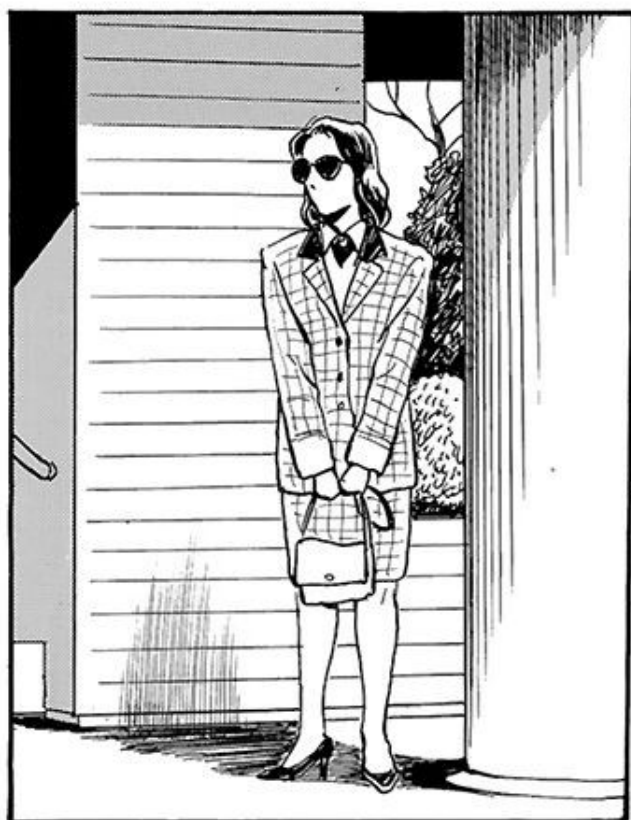




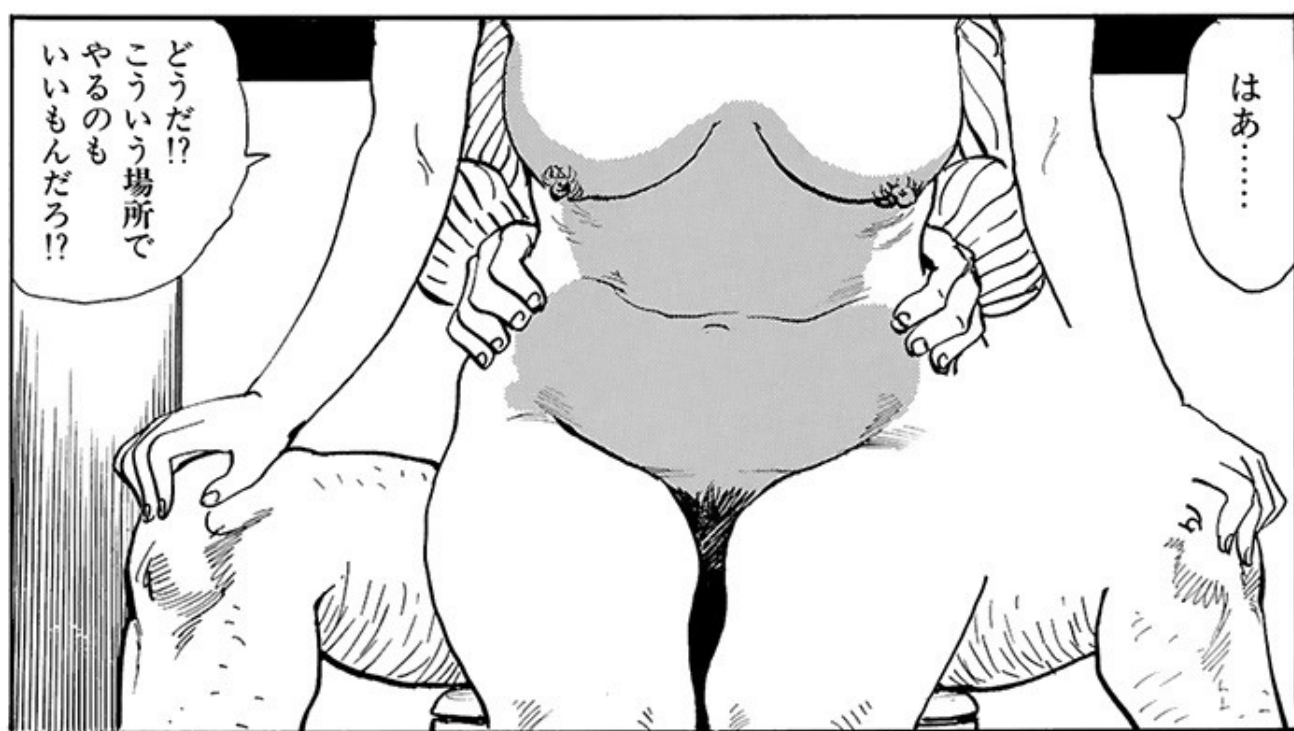


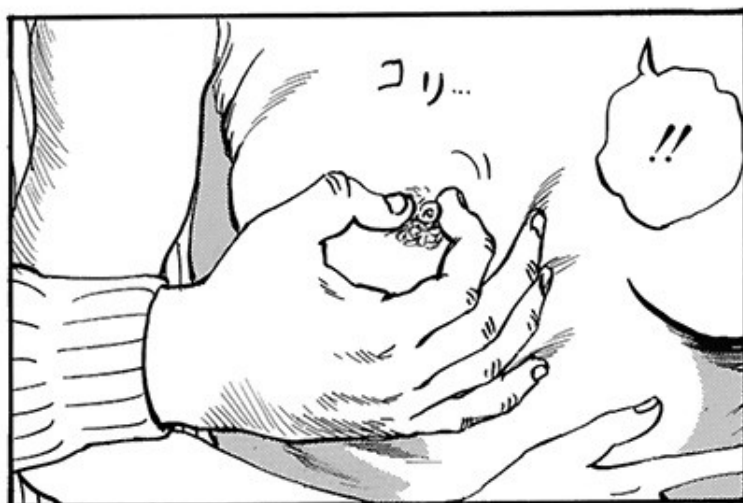


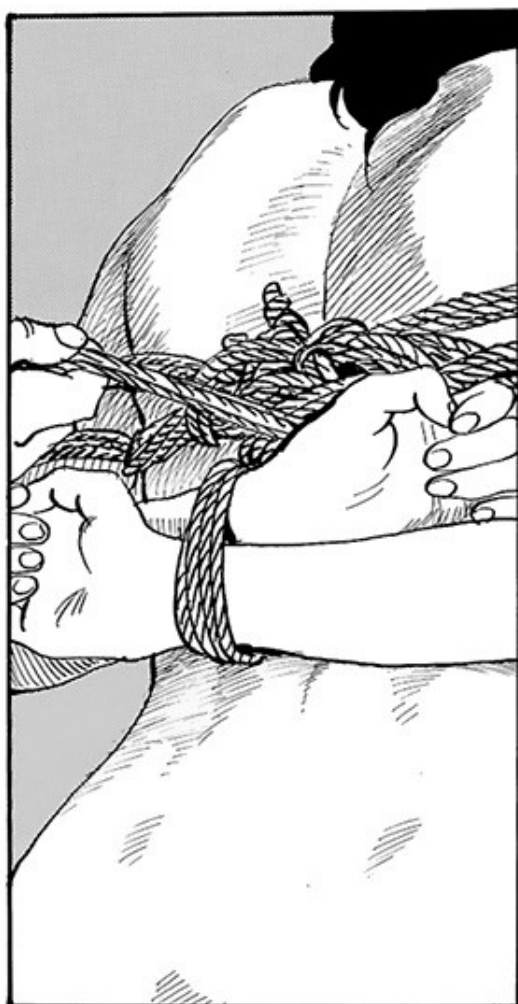
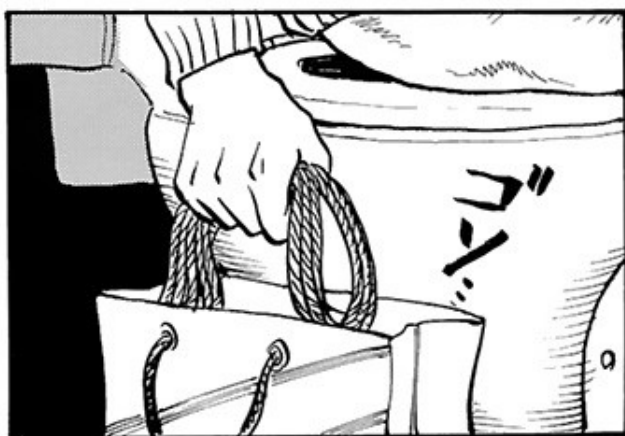


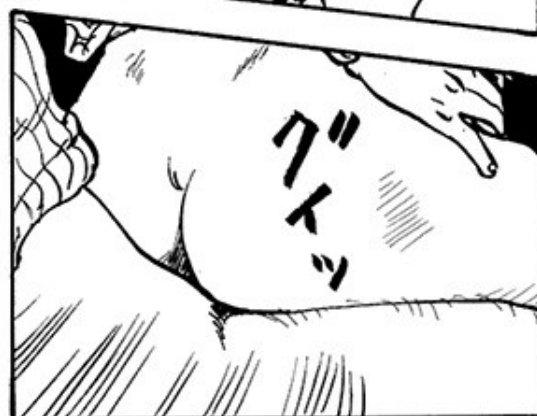






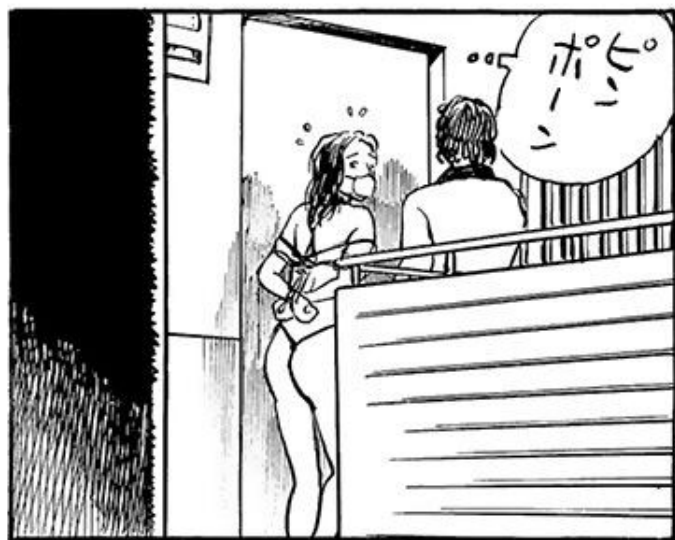
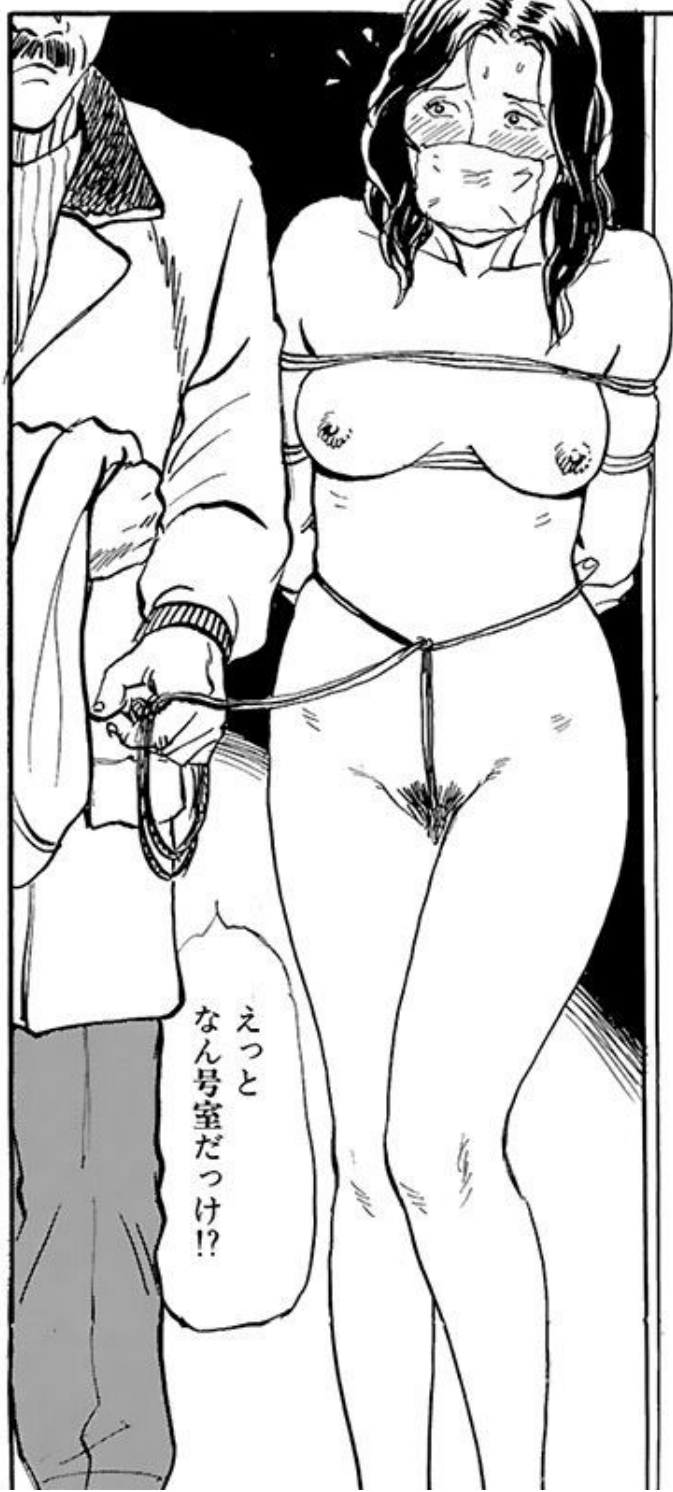


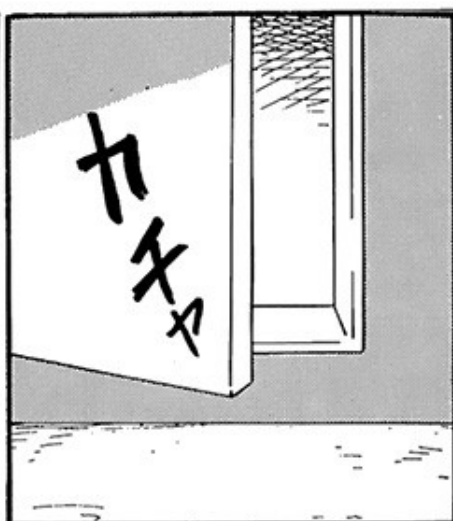














お待ち
かねの
オ○○コだぜ!

う……うっ……

あ……あたし
もうトイレへ
行っていい!?

来なさい
アヌス栓を
はずして
あげよう!

ル……ルリ……

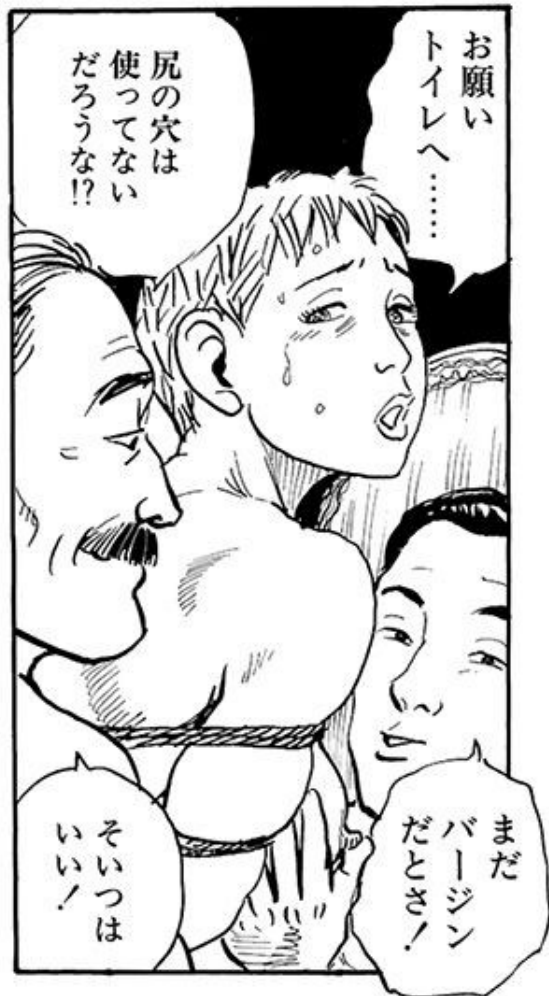
おやおや
女房の
マ○コじゃ
不満かい!?

あんな小娘の
愛人ごときにや
まだ 負けてねえよ
なア 奥さん!?

うっうっ!!

締まりが
よくなるように
俺も協力して
やるからよ!

おっうっ!!



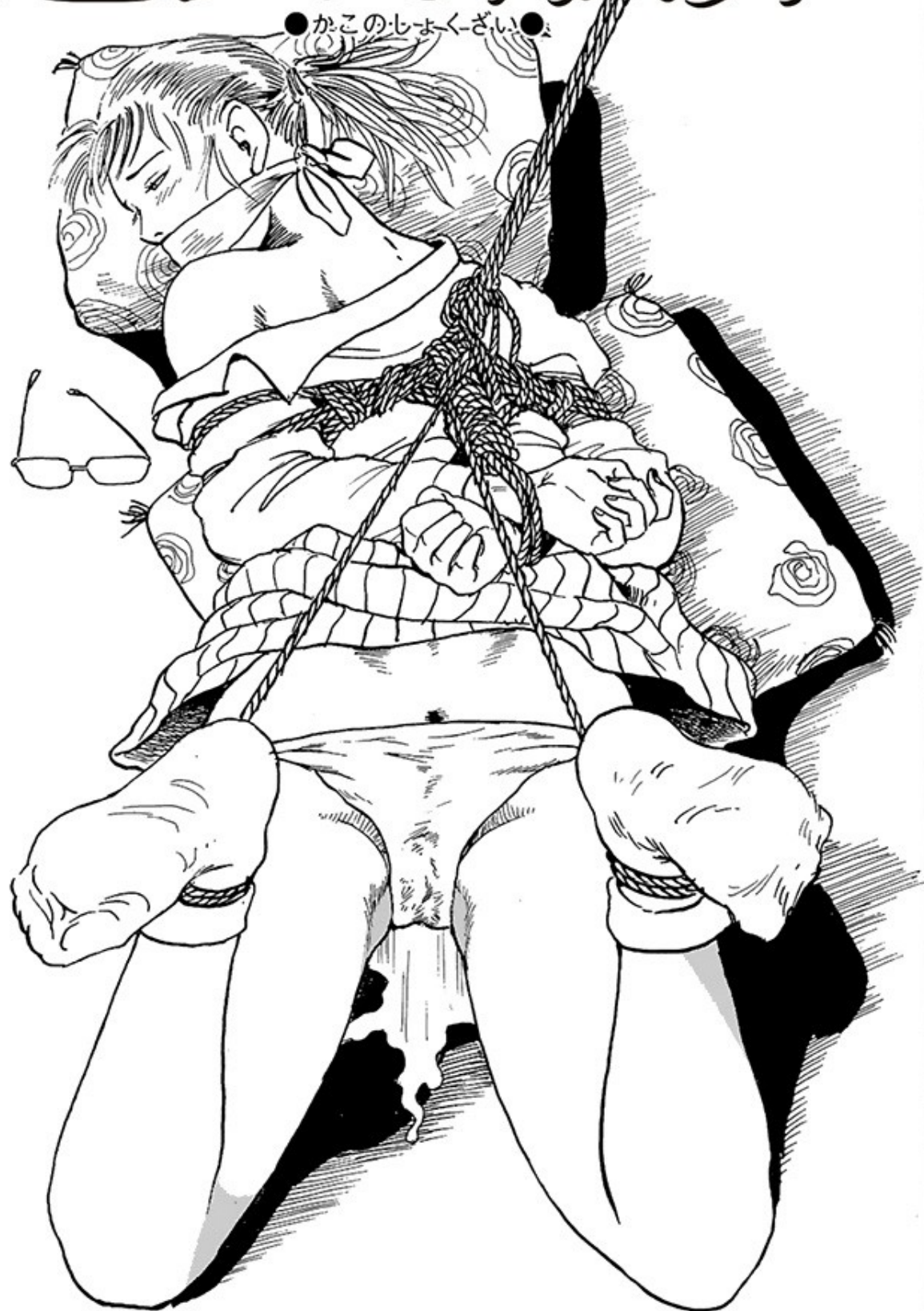




END

過去の触罪

●かこのしよくざい●



ママ
電話だよ!

あら!! もう
お迎えのバスが
来ちゃうのに!

はい
中村で
ございます!

奈緒子さん
いるかい!?

これ
これ

あっ はい
わたしですが!

高木って男
覚えてるかい!?

し...
知りません
そんな人
.....



目まいがした……

ママ
どうしたの!?

思いだしたくない
過去だった……

な…なんでも
ないのよ……

ほらほら
バス 来ちゃうわよ
……

そして……

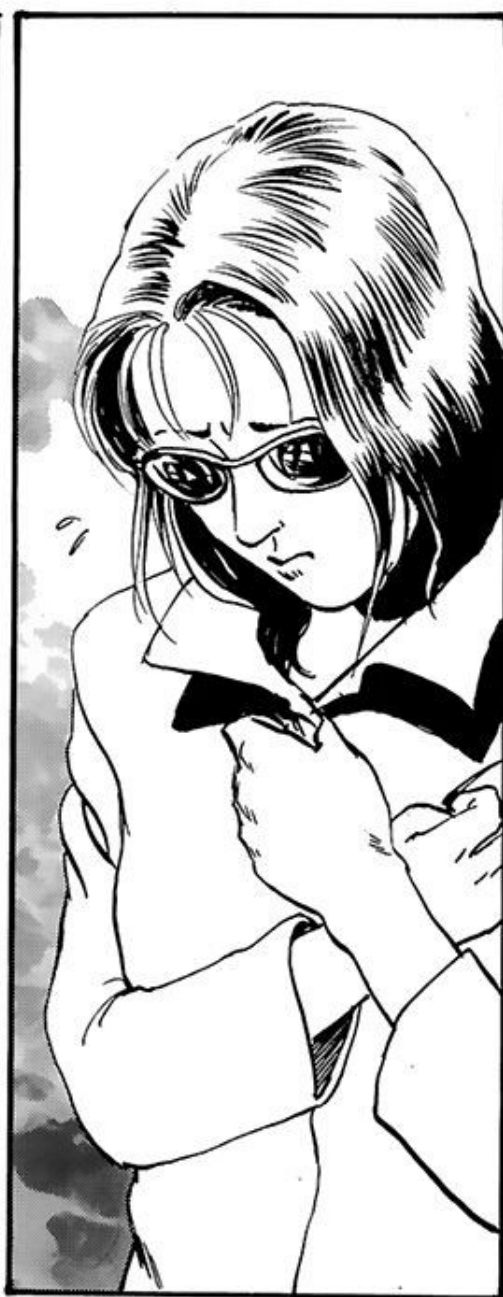
誰にも知られたくない
過去だった……

はい……

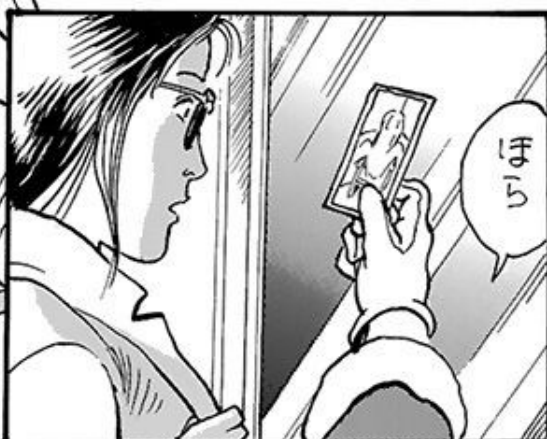
ネタは
あがってん
だよ!

ご主人は
高木とのこと
知ってる
のかい!?

高木という悪魔のような男の死とともに
忘れたはずの過去だった……

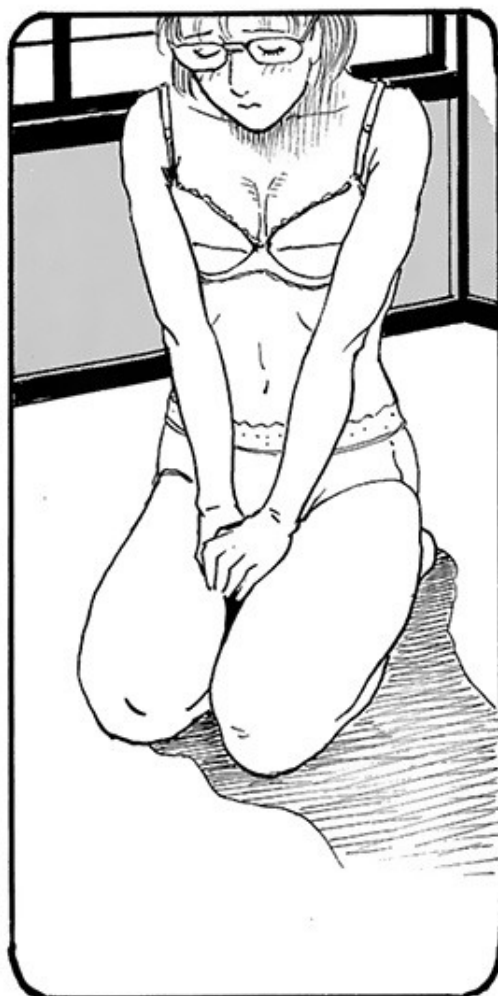
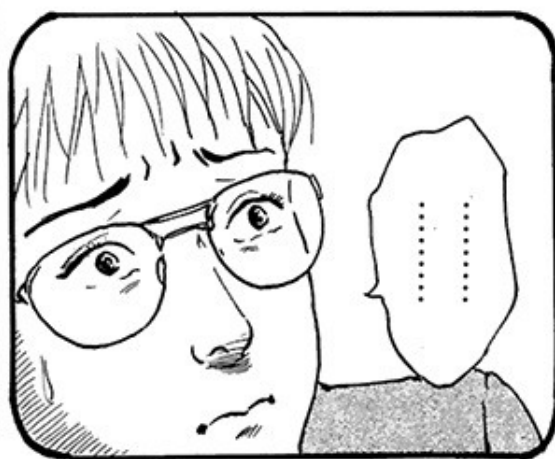






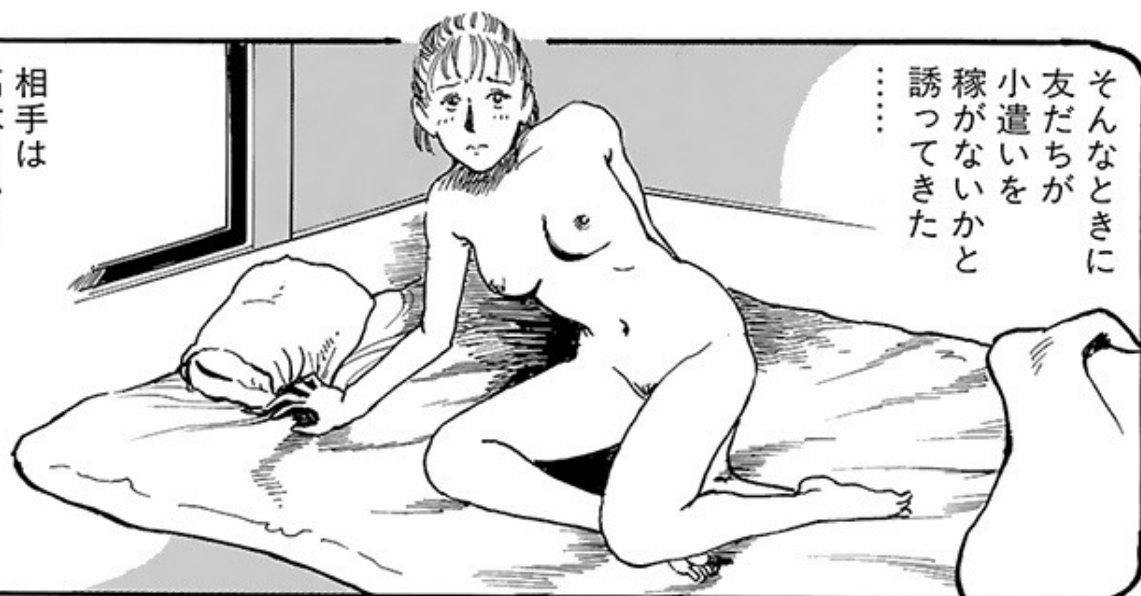
十代のころ……
わたしは一度だけ
あやまちを犯した
……





そんなときに
友だちが
小遣いを
稼がないかと
誘ってきた
……

相手は
高木という
親子ほど年のはなれた
サラリーマン……



東京に妻子を残し
わたしの住む町に
単身赴任していた……



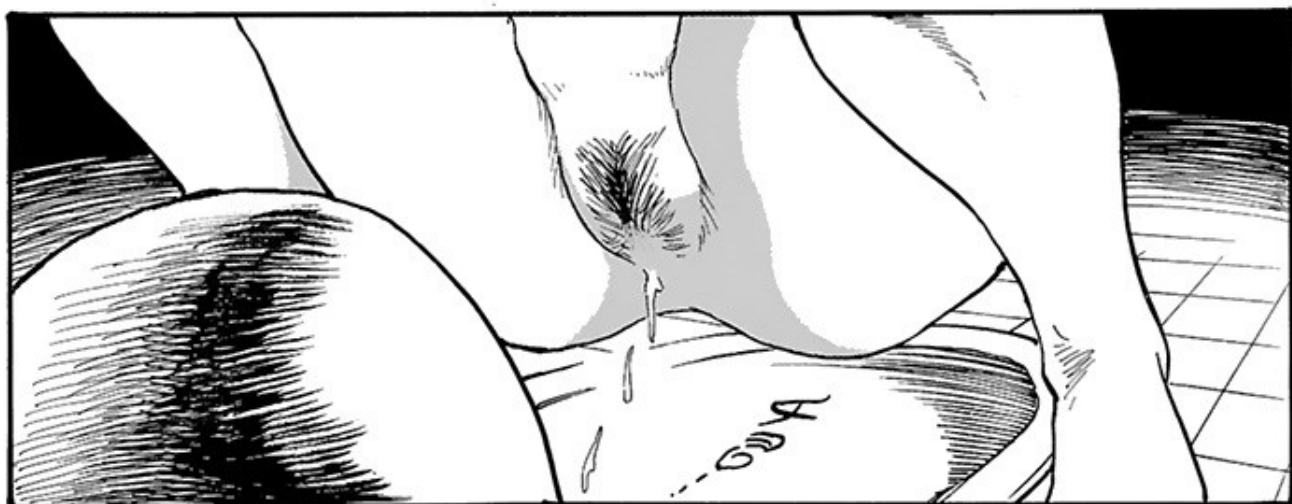
初めてだった
……



わたしの
一生に一度の経験は
わずかなお金にかわった……

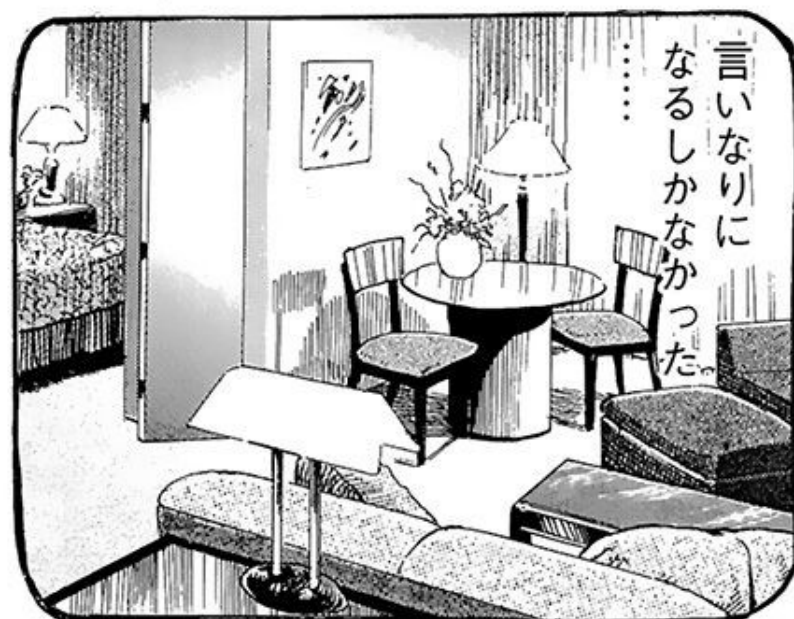






卒業後……
わたしは就職のために
上京した……

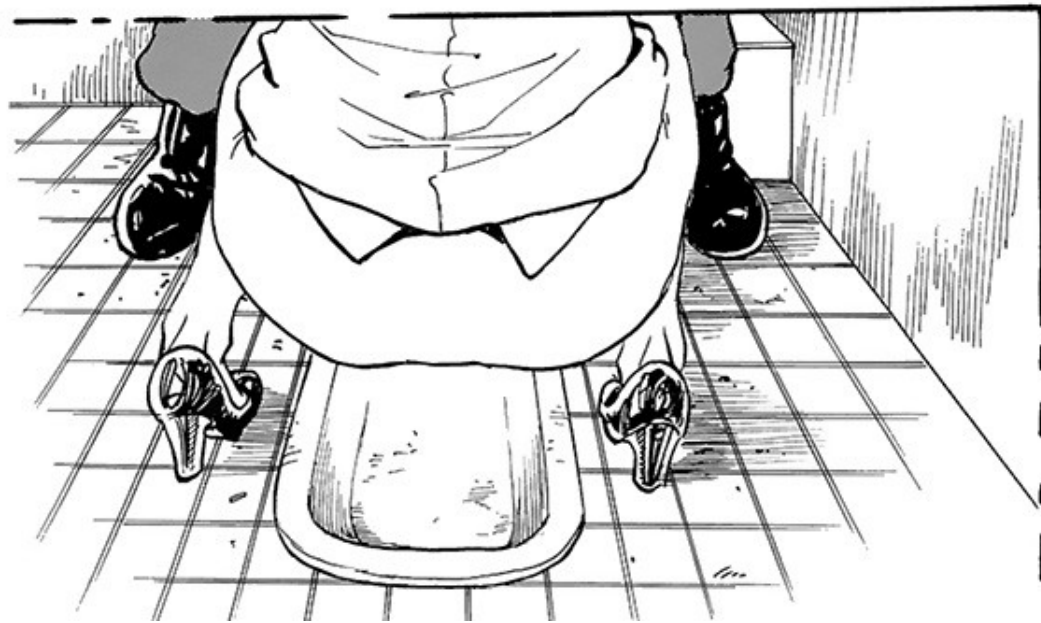




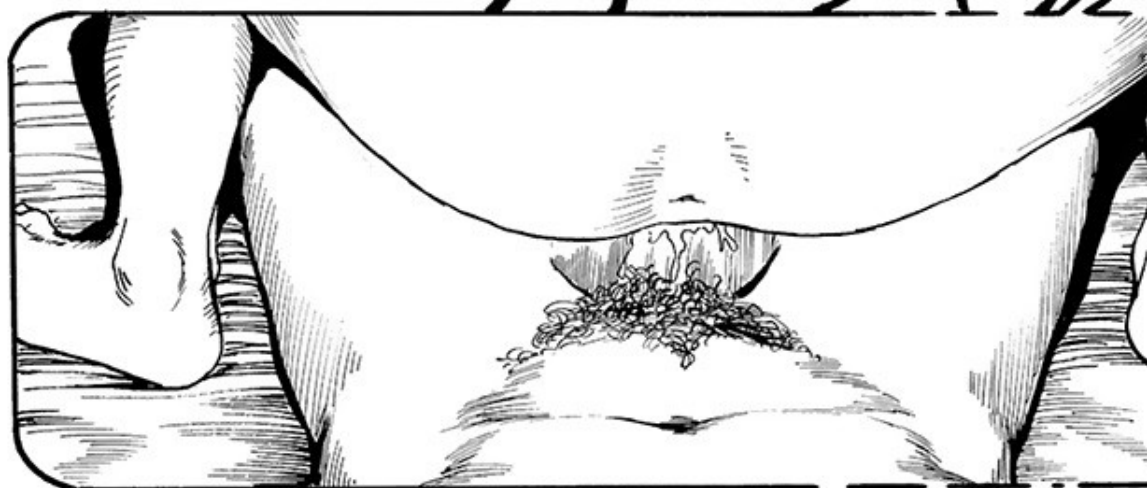




ほとんど毎日
高木はわたしのアパートに
泊まるようになった……



もっと腰を
振るんだよ！



毎回 わたしが
いっぼう的に
奉仕させられた……



一カ月ほど
したとき……



俺を
いかせるまで
寝かさんぞ！



それまで
感じたこともない
感覚が
体に走った……

あっ！！

全身の毛穴から
汗が吹きだすような……





ああっ!!

ほら!

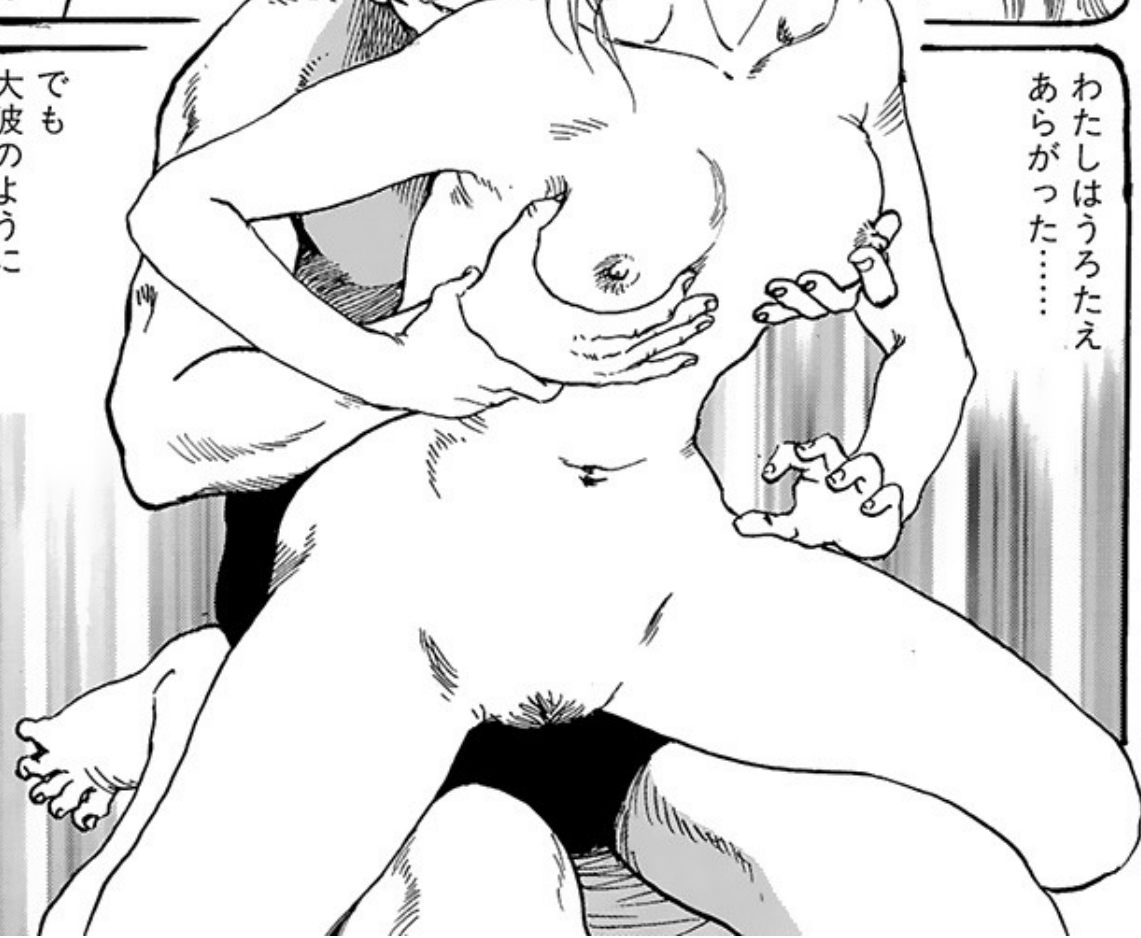


はああっ!!
いやっ!!

高木にふれられ
感覚が一層
強くなってくる
.....

わたしはうろたえ
あらがった.....

でも
大波のように
押しよせる感覚は
柳えようがなくて



頭の中が膨張し
突然 目の前が
白い光に包まれた
……

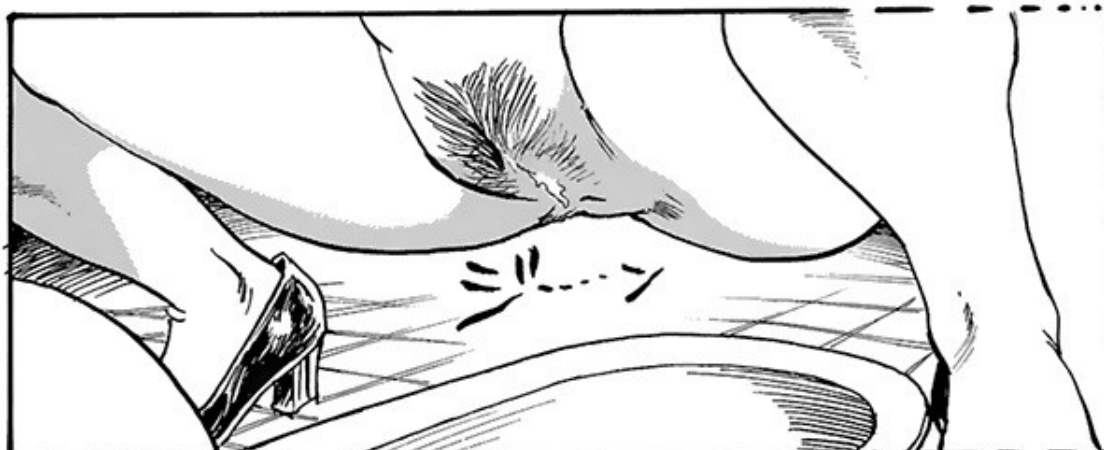


それが
いくということだと
高木が言った……

自慢気に……



わたしの体は
犯されながらも
いくのだと
教えられてしまった……



あっ ダメッ
どうして
濡れてくるの
……!?



ううっ
もういいぜ
奥さん!

いっちまい
そうだ
もったいねえ!





どうしても
見たくてな!

縛りあげると
潮を吹く
マ○コってのを!

いくことを覚えた体は
高木の思うままだった……

自分の体が
いまわしかった……







高木が
事故にあい
わたしは
解放された
……

もう みじめな思いを
しなくてすむ……
そう思ってたのに……

やがて 心まで
性の快楽に
支配され
はじめたとき……

シッポ

股ぐら
グシヨ
グシヨにして
よくいうぜ!

ダ…
ダメツ!!
はああッ!!

お願い!!
もう
やめて!!





ザーメン
まみれで
家に
帰んな!



あんたにや
それが
お似あいだ!



あなた
誰なの!?



あんたの望みを
かなえにきた
サンタだよ!



わたしは
こんなこと
望んでないわ……



こんなみじめな
思いは もう
たくさんよ!

ホントにいやなら
あんなふう
に感じるものかな!?



あんたが
気に入ったよ!



高木の
日記は

俺が
完結させて
やるぜ!

男はそれ以来
姿を見せなかった……

ママ
このヒモ
なあに!?

今夜 パパに
大切なお話が
あってね……
見ずしらずの男に
脅されつづける
くらいなら……

数日後……
わたしは夫にすべてを
打ちあける
決心をした……

ウチの店で
働かせたら
ナンバーワンの
M女になるのに

おいしいア!

ボクはてつきり
女房は不感症
なのかと
思ってたよ!

CLUB
TOPAZ

わたしの親父が
奥さんに
ひどいことを
しましたからね

いやいや
おかげで女房を
心おきなく
責められる!

なんなら
高木さんも
参加しないかい!?
また
サントの服着て!

いやはや
あなたは
親父以上だな
中村さん!

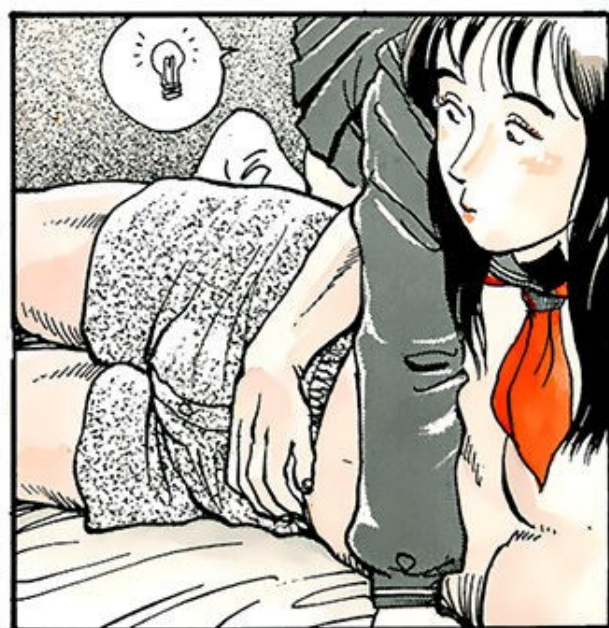
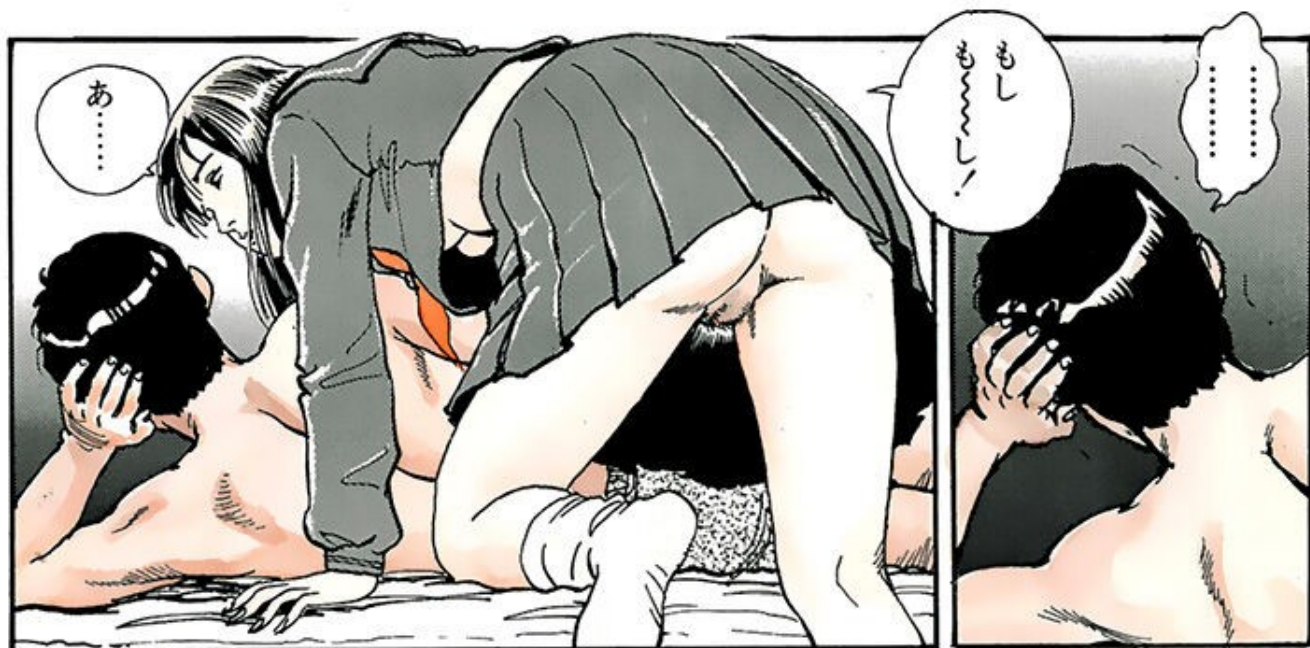
END

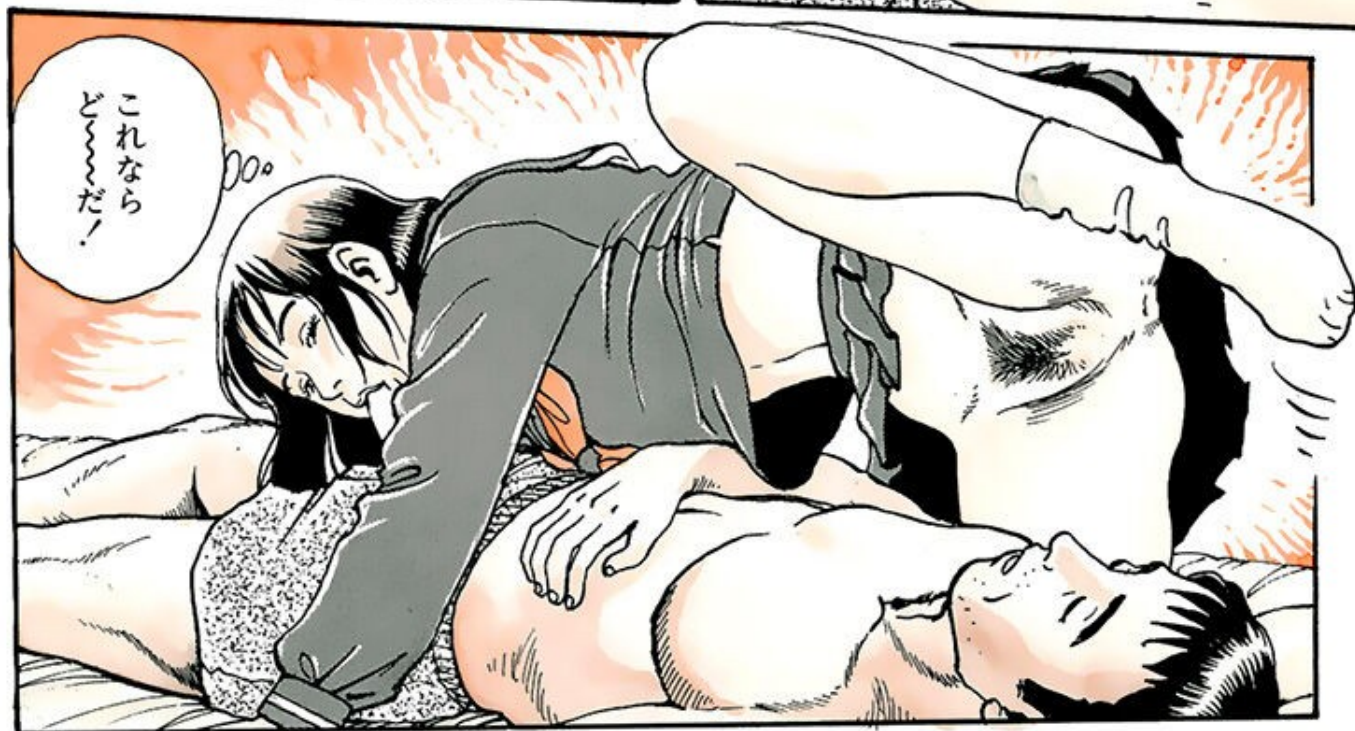
誰がために 鈴は鳴る

● たがためにすずはなる ●









あたしは
二十歳の女子
大生です……



へえ~~~~っ
眠ってても
立っんだア……



二カ月前から
十八歳年上の
バツイチ
大学講師と
交際中……



ぶはっ!!



あっ
起きた!?



こ……こら
なにしてるんだ
……!?



この人……
あたしの
初めての男なんです……



あたし大学で
この先生にナンパ
されたんです……

中学のとき
両親の離婚騒動を
まのあたりにしたせい
結婚や恋愛は
わずらわしいと
男を遠ざけて
いたのですが……



セックスには
すごく
興味があつて……

自分の大学の
女子学生を
ナンパするような
男なら
恋愛の
わずらわしさも
ないだろうと
とりあえず
一回だけの
つもりでベットへ
……

あ……あつ!!

二カ月前まで
処女だったとは
信じられんね!





イクことを覚えてからは……



あたしは
すっかり
わずらわしい感情に
支配されていました……



セーラー服の
美少女を
オモチャにした
気分は
どう!?



なに言ってるんだ
キミがわたしを
オモチャに
したんだろうが
……

だって先生
イッてないじゃん!

ああ
なるほどね!

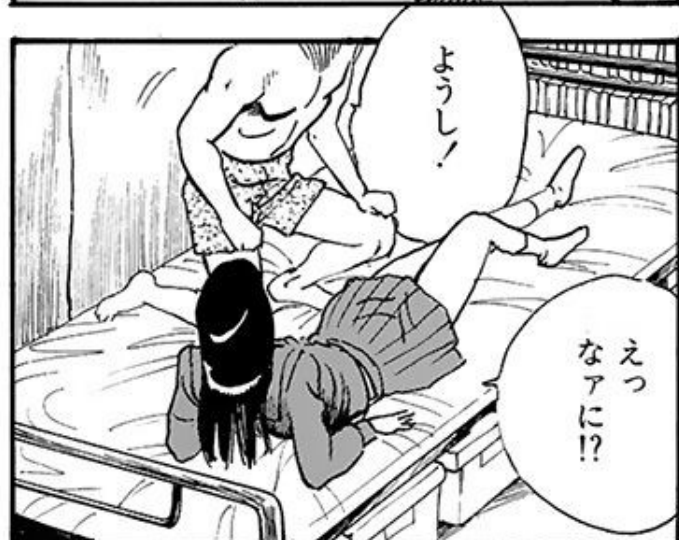


じゃ
今度はあたし
なにもしない
!

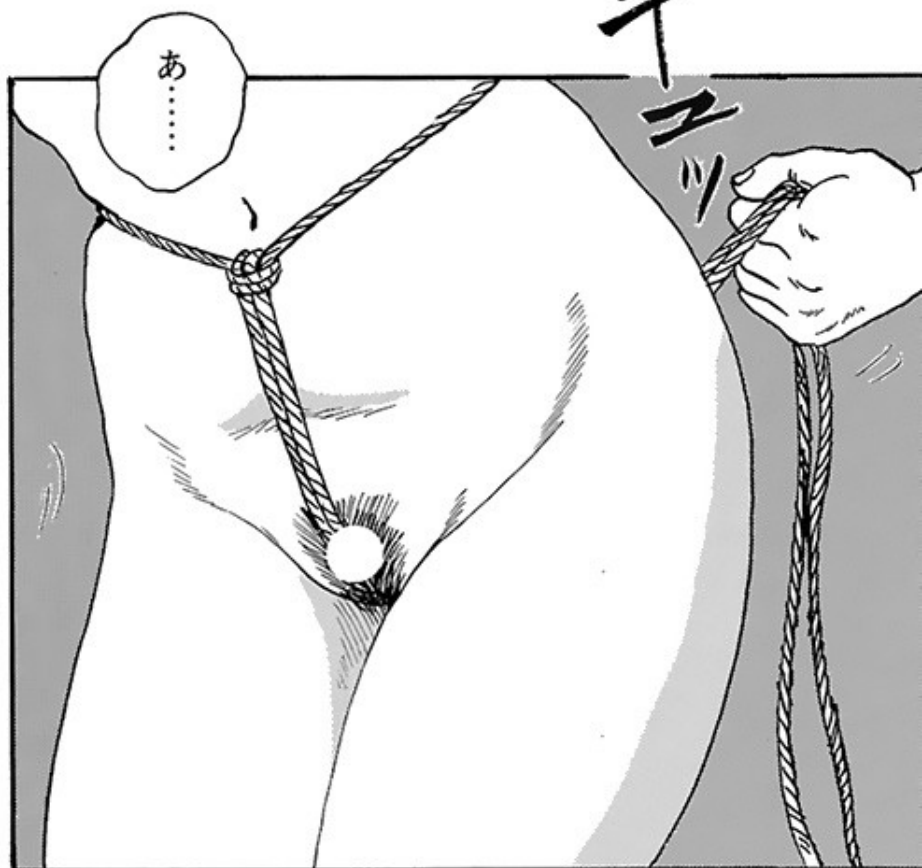
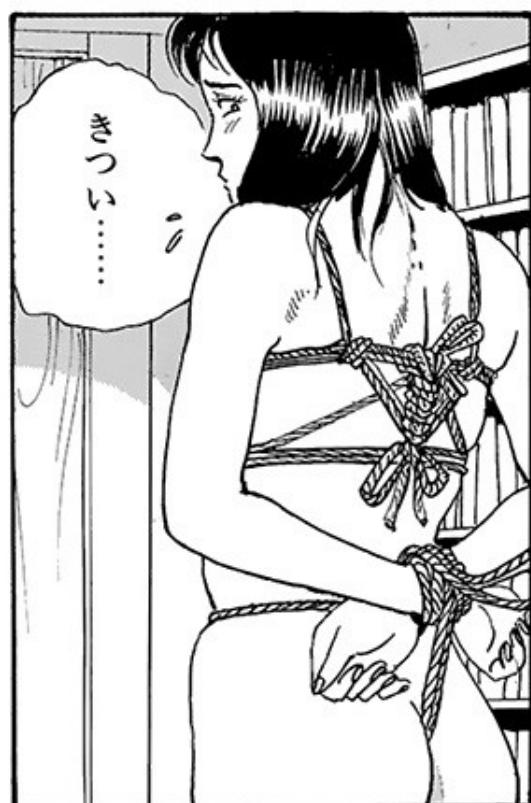
んっ!?

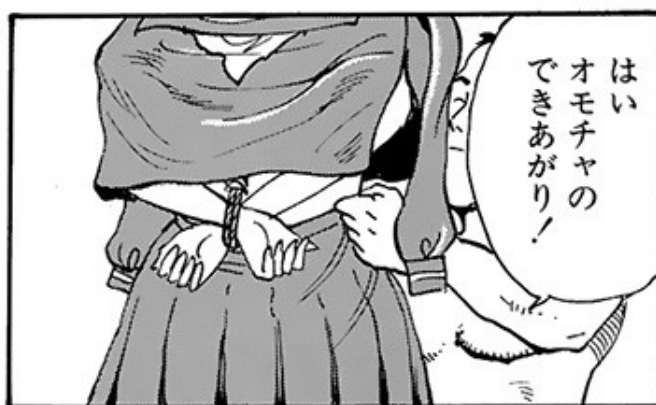


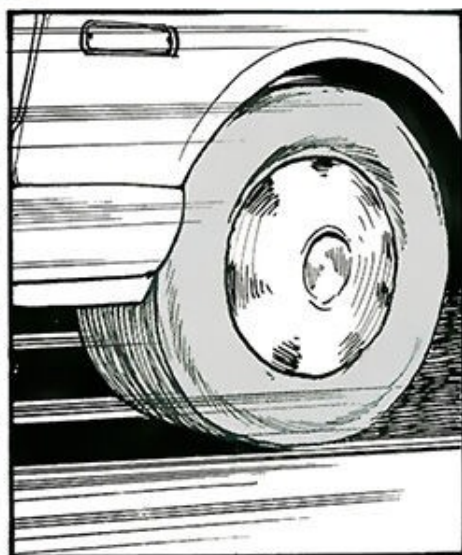
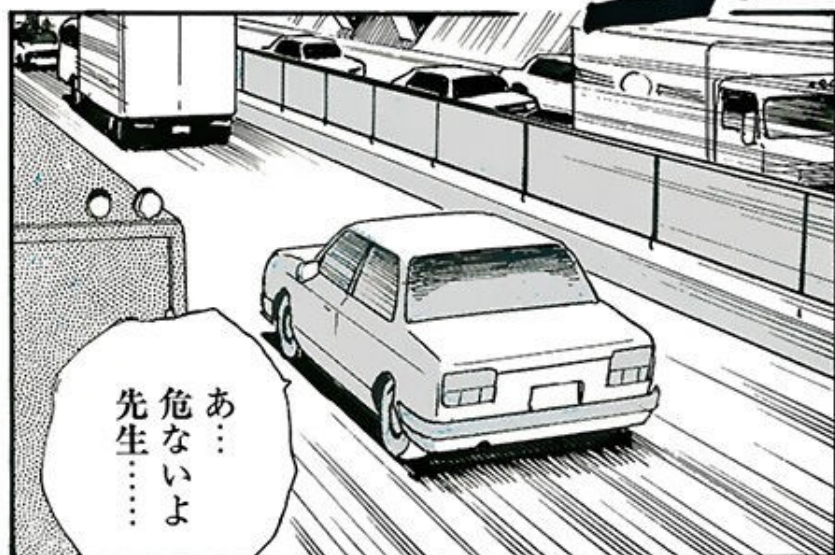
オモチャに
して
思うぞんぶん
!



ギョッ







あ…
危ないよ
先生……



あつ
やだつ
やめて……

おっ 汁が
あふれてきた!



スリル
満点だろ
!?



ほれ!

ギョッ
あう!!

ヒッ



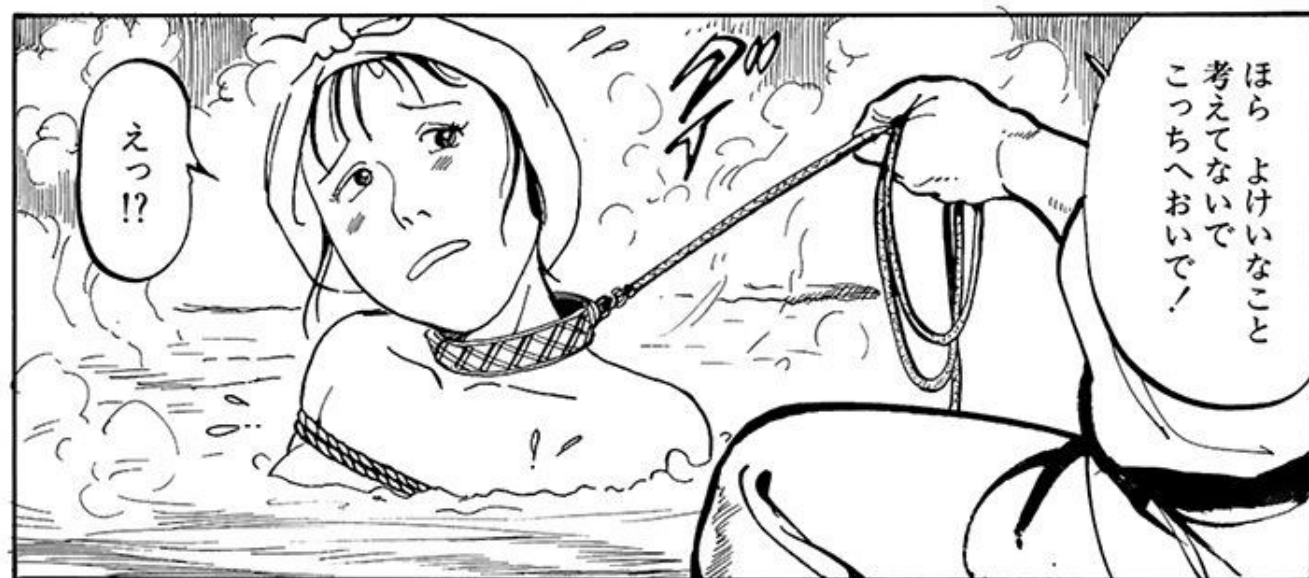
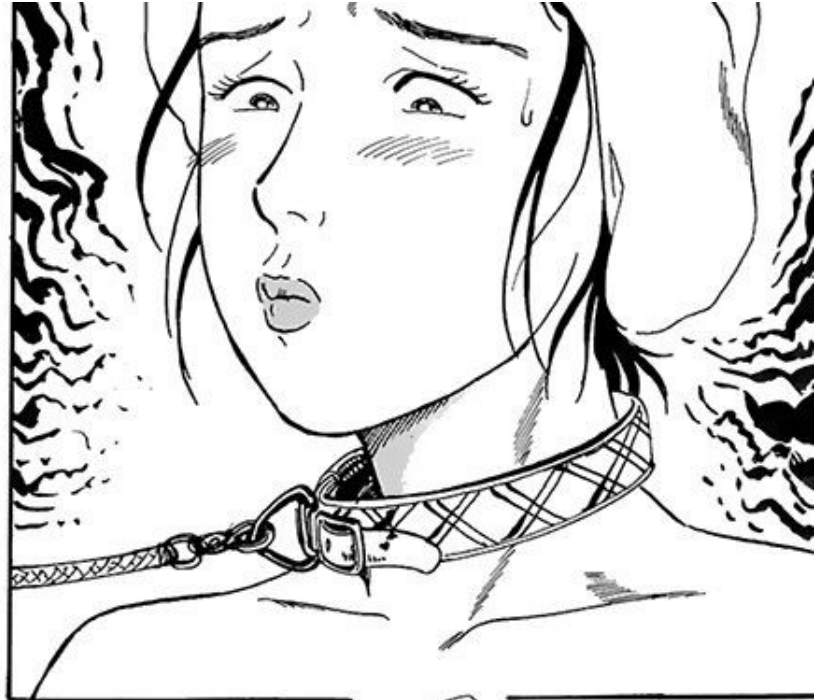
あ…ああ
ダメダメ……

んっ
いきそうか!?



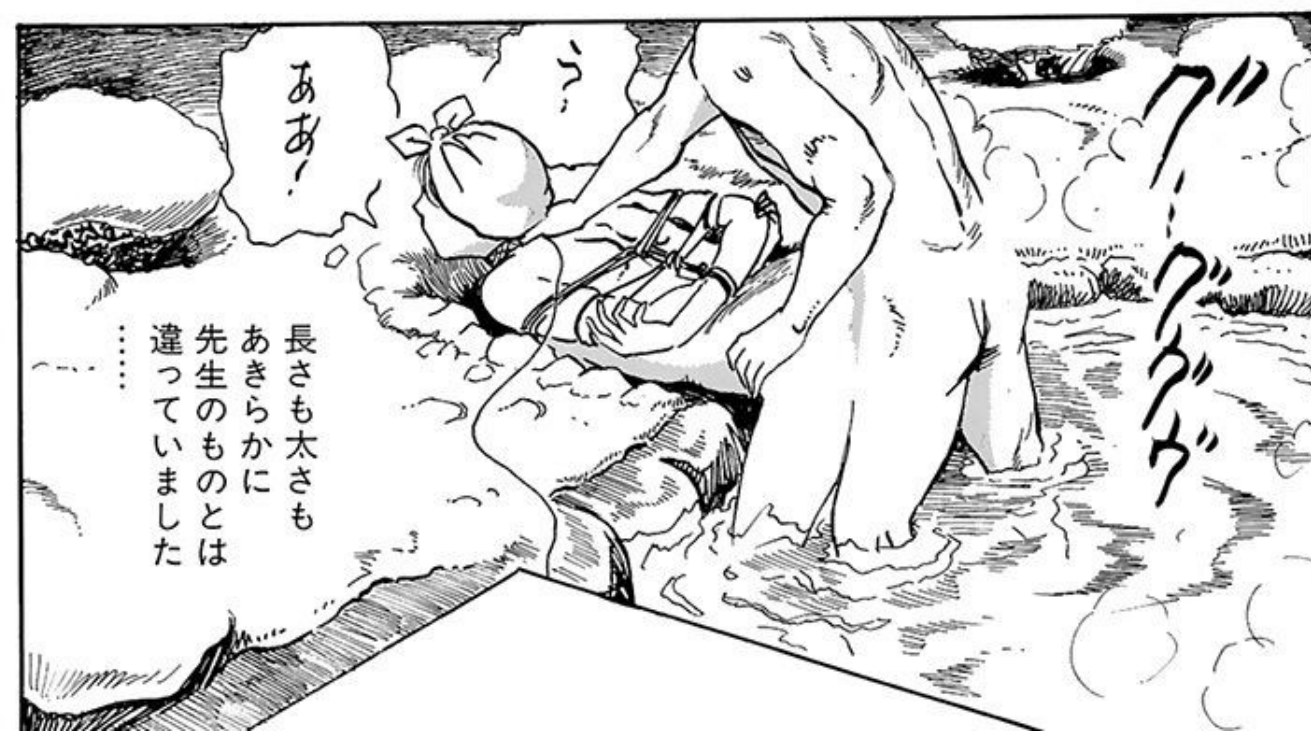












ズ...ズ...

だ...
誰なの!?

それは
その大きさを
臆に教えこむ
かのように
ゆっくりと
動きはじめ
ました...

あう!!

やがて
内臓が突きやぶられ
そうなほどの
強烈な一突きが
加わって...

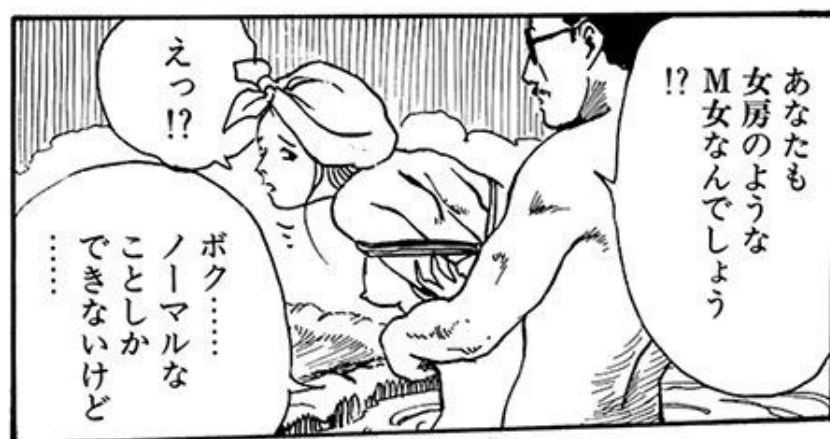
ボクの大きさに
慣れましたか!?

う...
うう...

ズ...ズ...

またたく間に
全身の力が
抜けていきました
...







こ…これ
なん時間もじゃ
いじめられてるのと
かわらない!!

あ…
ああっ!!

ううっ!!

女房にも同じこと
言われたから!

満足して
もらえると
思いますよ!

ご主人にいかされて
気がついたことは
恋愛感情なしでも
いくときは
いくってこと……

いっくう
——っ!!

ダメ…
ダメ!!

いきそう!!

どうぞ
なん度でも

それから数日間
昼夜を問わず
調教されて……

しょ……処女
だったんですか!?

二度目からは
彼女のほうから
誘ってきたんだ!

マゾっ気が
ありそうなんで
試しに縛って
みたんだが……

まさか
こんなに
ハマるとはな
!

ご主人のモノは
おいしいか!?

はひ……
おいひい
えふ……

いかな
独りじめ
したくな
ってきたよ!

あたしの初めての恋愛は
成就したようです……

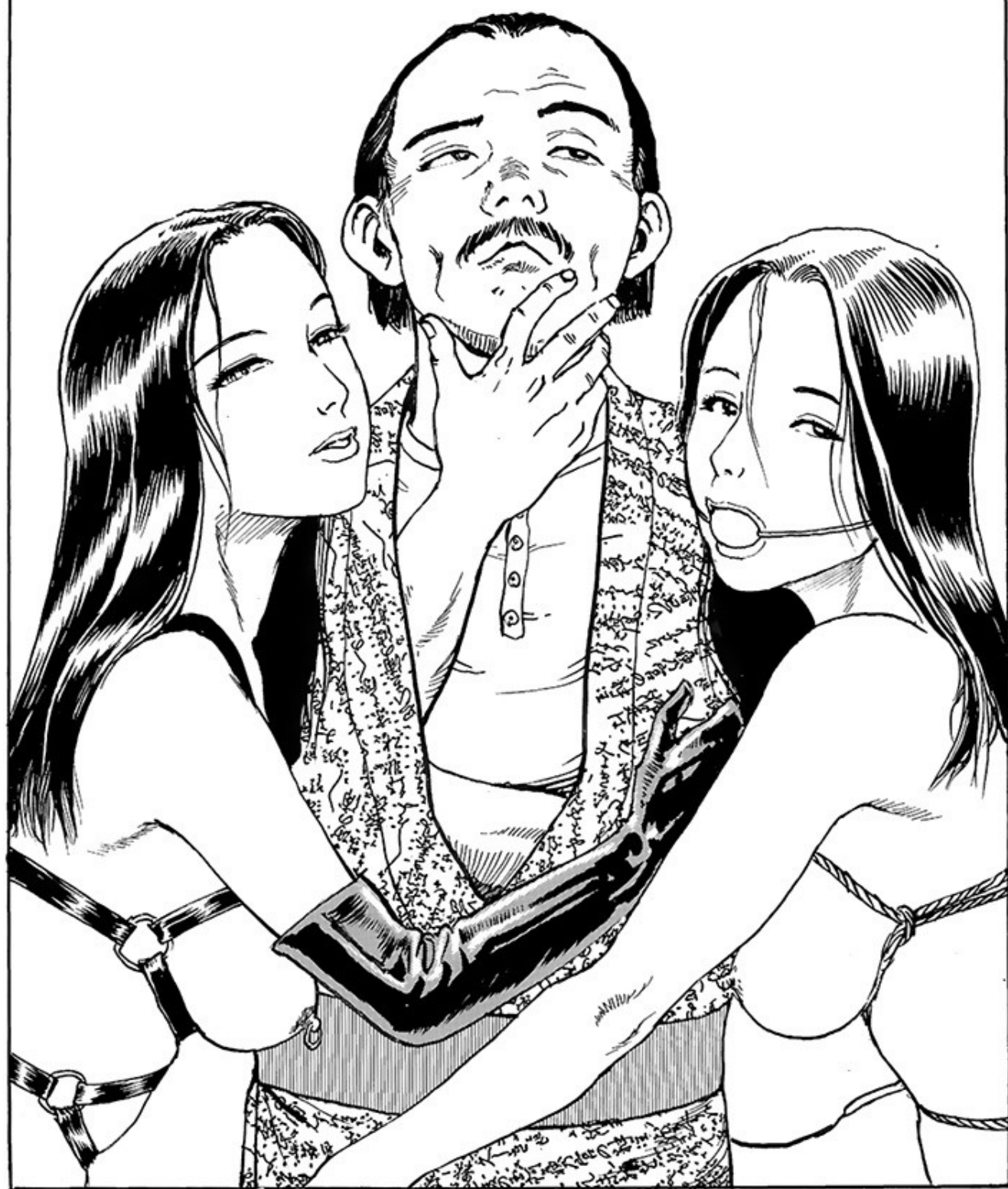
今ではあたしの体の
一番敏感なところで

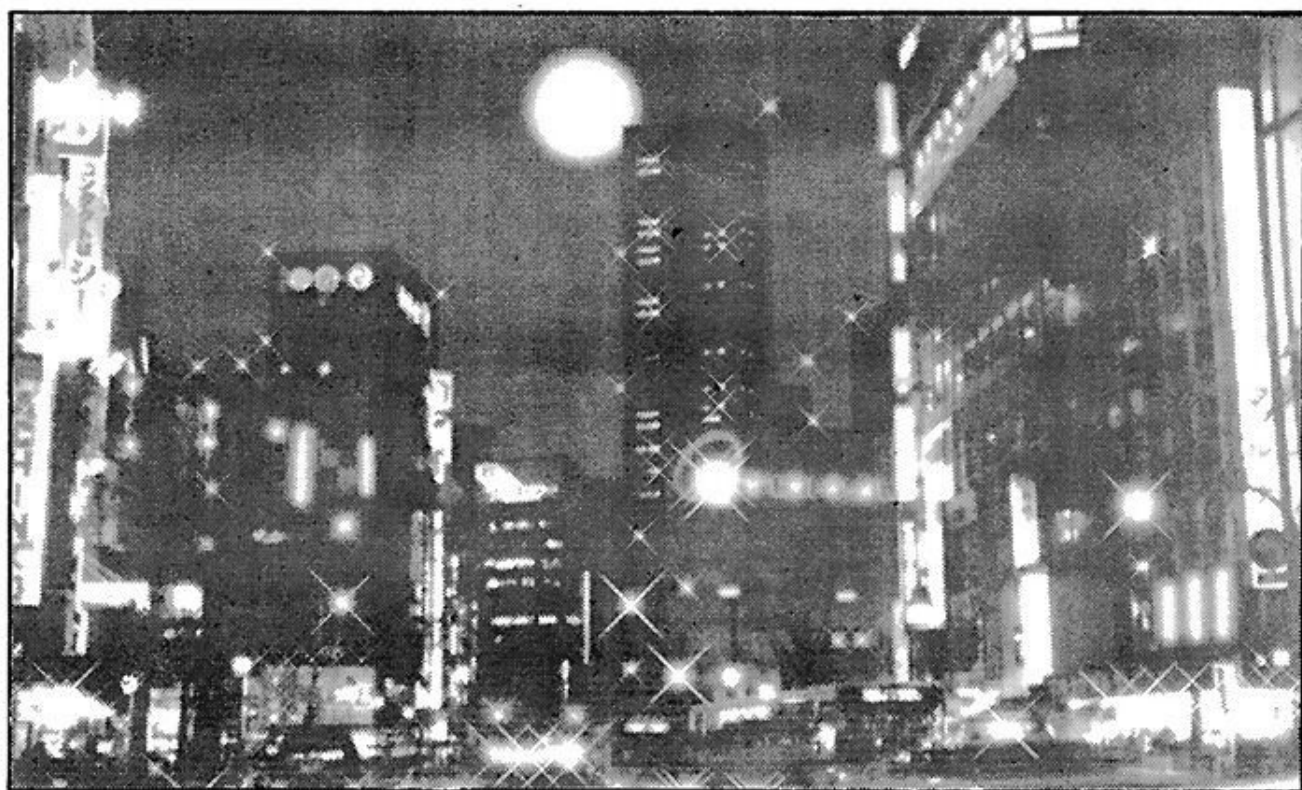
鈴が鳴ってます……

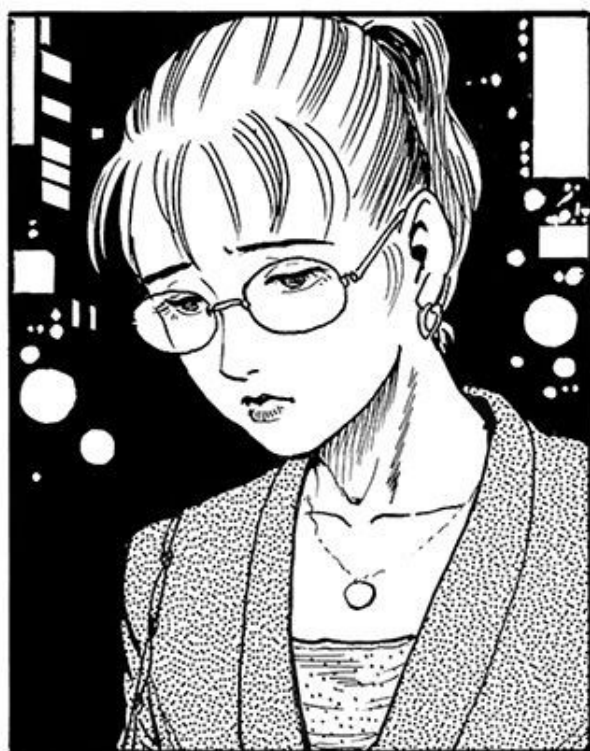
END

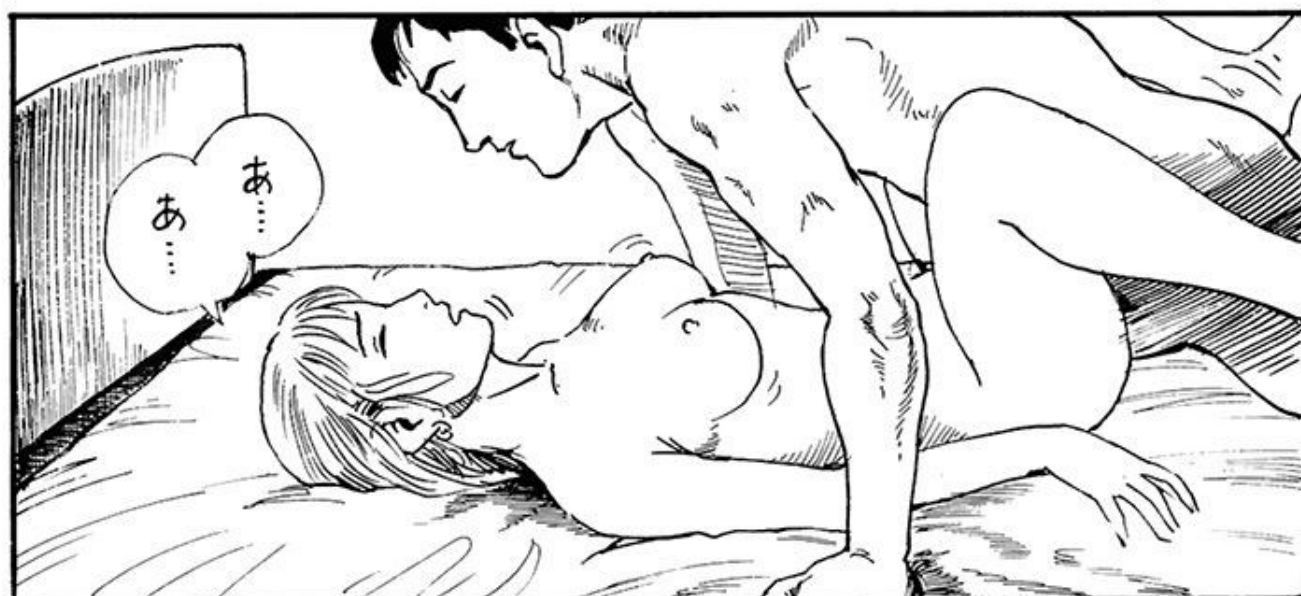
姦じるカラダ

●かんじるからだ●













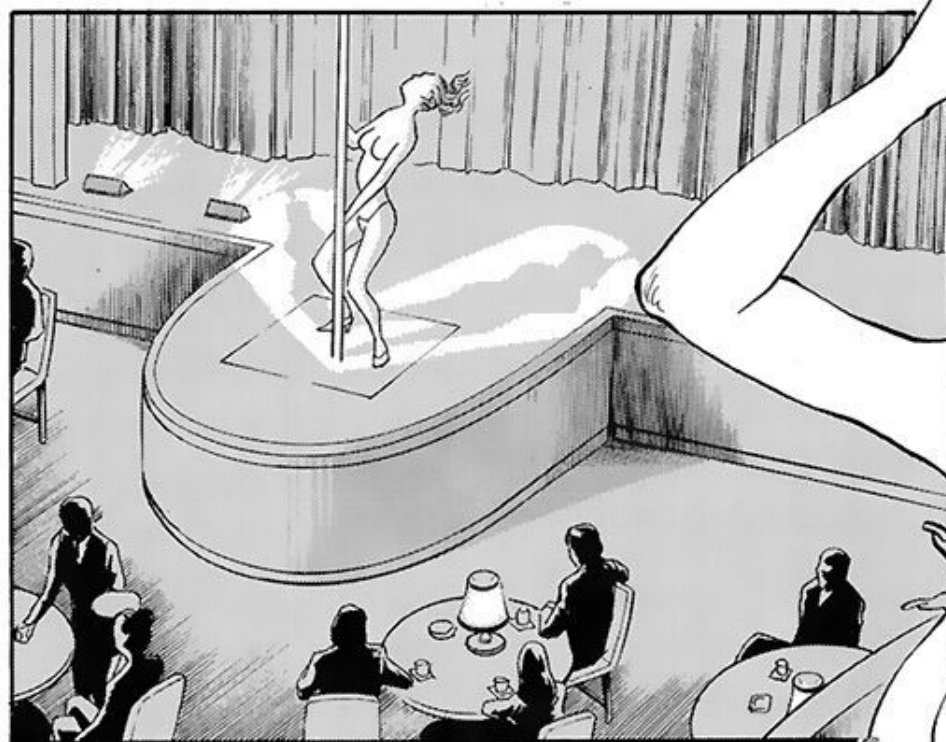












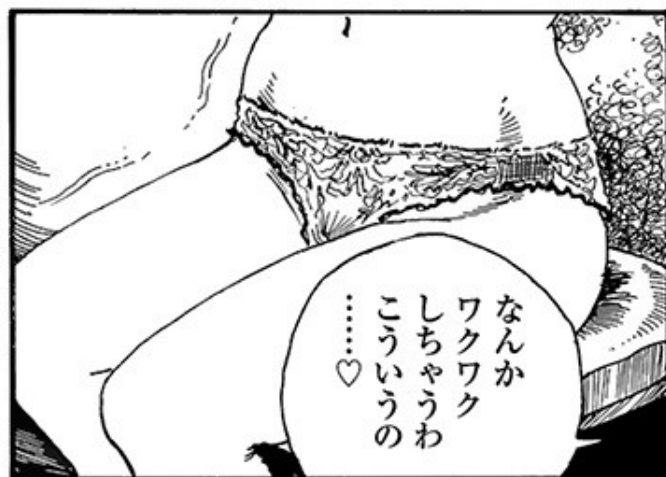
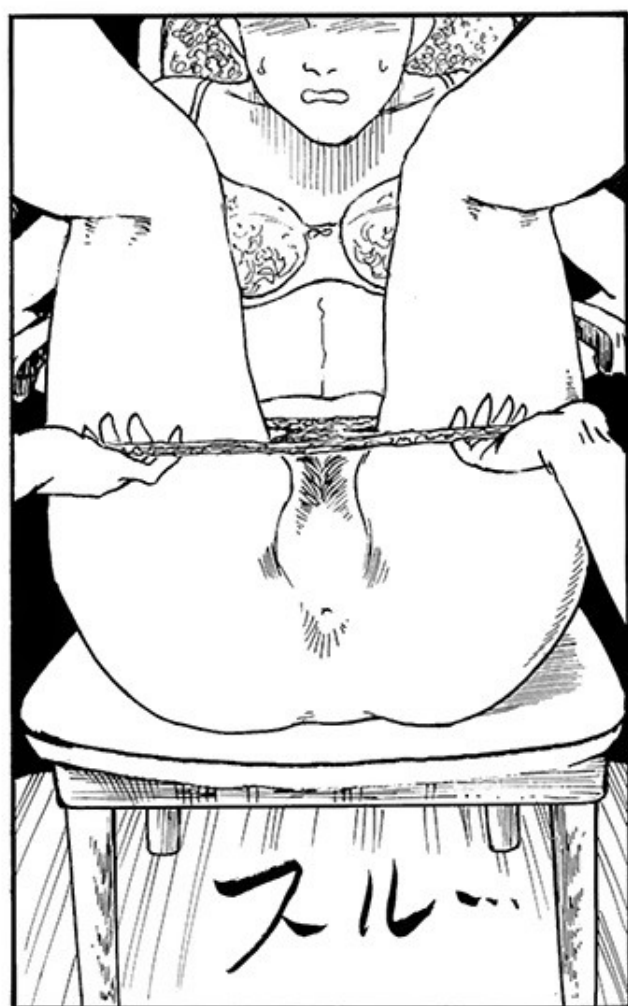


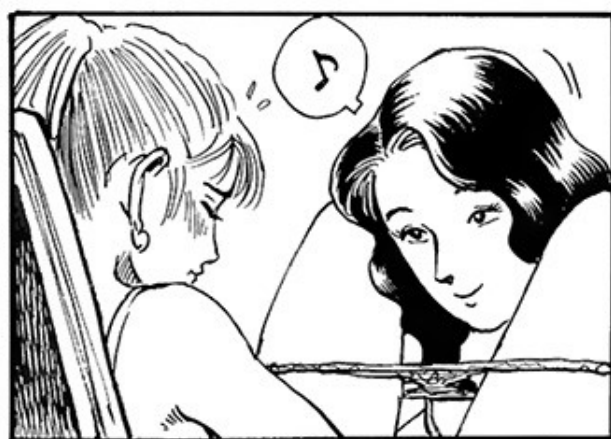




















END